

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート	学年・クラス	1D		
講義名	医療事務 A		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			75	通年	月1.2.4、木2、金2	304	
担当者	滝澤 幸子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講・演	5	
実務経験のある教員による授業内容	医療事務協会においてレセプト作成および講師として勤務した経験がある教員が、医療関連の事務において教育を行う科目。						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
医療事務の重要な仕事である医療費の請求を、診療報酬明細書(レセプト)の作成を中心に実習しながら学びます。	No.	日付	授業内容
電子カルテの導入で、手書きのレセプトを作成する医療機関は現在ほとんどありませんが、電子化に関わらず基本の算定や保険知識などは必要となります。実際の現場でも使用されている「診療報酬点数早見表」の利用方法も同時に学びます。	1		後期10月下旬に検定試験となるため、4～10月で仕上げます。
	2		オリエンテーション
	3		医療請求事務の基本 診療報酬明細書(レセプト)の基礎知識 点数算定とレセプトの書き方
	4		点数算定の原則 診察料 医学管理料 在宅医療
2. 目標検定・資格	5		投薬 注射 処置
医療事務技能士認定試験(IBT)		受験対象	リハビリテーション
		全員	手術 麻酔 検査
実施日	6	2023/10月末	画像診断 精神専門療法 放射線治療
3. 学習上の留意点	7		以上についての理解と外来レセプト作成を進捗状況に応じて実施していきます。
専門用語が並んで初めは難解かもしれませんが、慣れていきますので積極的に臨んでください。講義→練習問題→講義→練習問題を繰り返して習得できるようにしていきますので、100%の出席を目指して、コツコツ実力をつけていきましょう。	8		
	9		
4. テキスト	10		
医科テキスト3冊セット 医科サポートブック 診療報酬点数早見表ほか	11		
	12		
5. 成績評価の方法・基準	13		
席率80%以上必須 期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定可否・授業態度などを考慮し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもってC評価とする	14		
	15		
	評価試験		

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D		
講義名	基礎医学 I		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			30	前期	月3・火3	302	
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備 考
			有	必修	講義	2	
実務経験のある教員による授業内容		医療従事者として検査・研究機関に勤務した経験を持つ教員が、基礎医学ほかについて教育を行う科目。					

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)					
医療関係従事者、医療界に關与する人たちは、基本的な解剖と、生理(身体の構造と働き)について十分な知識をもっていることが求められるため、解剖生理学に關連補足を取り入れ知識を深める。		No.	日付	授業内容			
		1	4/10	細胞・染色体			
		2	4/11	組織・神経系の区分			
		3	4/17	脳脊髄膜・中枢神経全体像・大脳機能局在・末梢神経・自律神経			
		4	4/24	眼球の構造 ・目の主な病気			
		5	4/25	耳			
		6	5/1	心臓(構造、働き、刺激伝導系、循環)心拍数と血圧			
		7	5/2	心臓復習 ・心臓の疾患・動脈と静脈			
		8	5/8	毛細血管・リンパ系 ・循環器テスト			
		9	5/9	循環器テスト解説・血液の組成・血液成分・血漿・赤血球			
		2. 目標検定・資格	10	5/15	血液(白血球 血小板 血液の凝固)		
		医療秘書検定(メディカルサポートコース) 医薬品登録販売者(両コース) 実施日 秘書11/5(日)登販 2024. 9	受験対象 全員	11	5/16	血液型 ・貧血	
		12	5/22	中間テスト			
3. 学習上の留意点	13	5/23	血液テスト ・テスト解説				
授業は意欲的に参加し、解剖生理学部門は、ノートに取りまとめることが大切です。 別途配布する資料は正しく整理して必ず保管しておくこと。 日常生活においても身体の各部分の名称や働きを意識する。	14	5/29	骨①(全身骨格など)				
	15	5/30	骨②(頭部の骨、椎骨、骨の疾患、関節)				
	16	6/5	筋系				
	17	6/6	腎臓・尿路の形態と機能 ・腎・泌尿器系の病態				
	18	6/12	腎臓テスト・内分泌系(フィードバック機構、視床下部、下垂体、甲状腺)				
	19	6/13	内分泌系(副甲状腺、膵臓、副腎、卵巣、精巣)				
4. テキスト	20	6/20	内分泌系の疾患 ・まとめ ・内分泌テスト				
改訂 基礎医学(建帛社)	21	6/26	呼吸器系(解剖、構造と機能)				
	22	6/27	呼吸器系(疾患) 、テスト				
	23	7/3	消化器系① 機械的消化と化学的消化				
5. 成績評価の方法・基準	24	7/4	消化器系②(胃 小腸 大腸)				
出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする	25	7/10	消化器系③ 消化腺(唾液腺、肝臓、胆嚢、膵臓)				
	26	7/11	口腔内の疾患、食道の疾患、胃の疾患				
	27	7/18	腸の疾患 肝臓の疾患 期末の対策①				
	28	7/24	生殖器官系 ・まとめ				
	29	7/25	まとめ				
	30	7/31	期末試験				
	評価 試験						

科名	ICTシステムデザイン科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D		
講義名	就職支援		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	火1	301・201	
担当者	吉家 昭雄		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必須	講・演	1	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
以下の順で就職への心がまえをつくり、就職活動の準備をしていきます。  ①就職活動の前準備 自分を知る 就職活動に必要な基礎的能力を身に付ける ・基本的な職業理解 就職活動の概要を理解する 履歴書作成 ②職業・企業に関する情報を集める ③ 情報を分析する ④職 業を決定し会社を決定する	No.	日付	授業内容
	1	4/11	オリエンテーション EQと人間力
2. 目標検定・資格	無	受験対象	職業観・就業観
	実施日		求められる人材とは
3. 学習上の留意点	7	5/2	就業準備(企業研究・各種セミナー・合同企業説明会)ガイダンス
	8	5/9	職業理解1(事務)
4. テキスト	9	5/16	職業理解2(医薬・IT関連)
	10	5/23	職業理解3(営業・販売)
5. 成績評価の方法・基準	11	5/30	適性検査対策WEBテスト / SHLテスト
	12	6/6	適性診断と適職を知る / キャリアデザイン
必要出席率80%以上必須、評価は課題レポートと授業態度(40%以内)で総合的に評価する。 ※やむを得ず欠席した場合、授業内容に応じた課題を提出  A総合評価 90点以上 B総合評価 70点以上、90点未満 C総合評価 60点以上、70点未満 D総合評価 60点未満→単位不認定	13	6/20	職業興味検査 / 価値観 / 適性テスト
	14	6/27	履歴書の書き方 / エントリーシートとの違い
評価試験	15	7/4	心理テスト / 自分を知る
	16	7/11	履歴書の作成 / 自己PRと志望動機
	17	7/18	履歴書の作成 / 学生時代のエピソード引用他
	18	7/25	面接試験の受け方

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	コミュニケーション基礎		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	火2	304
担当者	野村 恵美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容	メディア出演や執筆、イベント司会などを通し日頃から「伝えること」に向き合う現役のフリーアナウンサーが、「聴き」「関わり」「より良く伝える」ための教育を行う科目					

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
コミュニケーションとは、人に「伝える、聞く、関わる」働きかけです。学生、そして社会人として能力の基盤となるのは、その働きかけで人間関係を築く力「コミュニケーション能力」です。まずはコミュニケーションの基礎を理解し、アセスメントを使って自分の特性を知りましょう。そして様々な理論を参考に、コミュニケーション能力向上の手法を学びながら、これまでの自分の言動をふりかえり、自分のコミュニケーション能力や行動意欲を高めるトレーニングに取り組みます。企業や社会生活で、より良い人間関係を築いていけるように、自分らしい人とのかかわり方や適切な自己表現ができる力を身につけましょう。	No.	日付	授業内容
	2. 目標検定・資格		
なし	受験対象		
実施日			
3. 学習上の留意点			
講義とグループワークを交えて「コミュニケーション」の構造の理解、向上のための手法を学びます。セルフワーク、グループワークを通じて、知識・テクニックのインプットとアウトプットを重ねる体感型の実践的内容となります。ワークには「話す」「聞く」「チームに協力・貢献する」態度で臨んでください。また授業中はもちろん、学内やプライベートでも、コミュニケーション能力を開発する意欲を持ちましょう。			
4. テキスト			
EQIアセスメント、EQハンドブック・ワークシート			
5. 成績評価の方法・基準			
必要出席率80%以上必須、評価は期末課題レポートと授業態度(40%以内)で総合的に評価する。			
A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定			
	1	4/11	オリエンテーション(授業目的)と自己紹介
	2	4/25	「EQI」(行動特性検査)受検
	3	5/2	記憶と感情の関係は?
	4	5/9	コミュニケーションとEQの関わりについて(松井T)
	5	5/16	「EQI」(行動特性検査)のフィードバック～自己理解と課題～(松井T)
	6	5/23	EQを開発してコミュニケーション能力を高める(松井T)
	7	5/30	相手を知ろう&話そう「THEインタビュー」
	8	6/6	より良いコミュニケーションはきっかけづくりから「共通点を見つける」
	9	6/13	話し上手は聞き上手「聞く・訊く・聴く」
	10	6/20	コミュニケーションの手段は言葉だけじゃない!「想像力と身体を使って…」
	11	6/27	自分ってどんな人?「第一印象」「ジョハリの窓」
	12	7/4	自分の思い、どこまで伝わってる?「コミュニケーション・ギャップ」
	13	7/11	語彙力を身につけよう「言葉に宿るチカラ」
	14	7/18	EQと言語
	15	7/25	期末レポート
	評価		
	試験		

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	医薬品 I		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			30	前期	水1・木3	302
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講義	2
実務経験のある教員による授業内容		医療従事者として検査・研究機関に勤務した経験を持つ教員が、医薬品ほかについて教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)					
<p>登録販売者とは、ドラッグストアや薬局などで、かぜ薬や鎮痛剤などの副作用のリスクが比較的低い一般用医薬品の販売ができる医薬品販売専門の医療系国家資格です。</p> <p>この公的な資格をクラス全員で合格を目指します。</p>		No.	日付	授業内容			
		1	4/12	卒業生の進路状況、アスピリン、医薬品の本質			
		2	4/13	サリチル酸系解熱鎮痛成分、医薬品のリスク評価、健康食品			
		3	4/19	アセトアミノフェン、副作用			
		4	4/20	イブプロフェン、不適正な使用と有害事業			
		5	4/26	インプロピルアンチピリン、他の医薬品との相互作用、食品との飲み合わせ、小児への配慮			
		6	4/27	リソチーム、小児・高齢者・妊婦・授乳婦への配慮、医療機関で治療を受けている人等への配慮、プラセボ効果、医薬品の品質			
		7	5/10	セミアルカリプロティナーゼ・プロメライン 適切な医薬品選択と受診勧奨			
		8	5/11	トラネキサム酸、薬害(サリドマイド、スモン、HIV)			
		2. 目標検定・資格		9	5/17	グリチルリチン酸、カンゾウ、薬害(CJD訴訟)第1章テスト	
		登録販売者	受験対象	10	5/18	第一章テスト解答 全身作用と局所作用 吸収について	
			全員	11	5/24	抗ヒスタミン成分 薬の代謝と排泄	
		実施日	2024年/9月	12	5/25	抗コリン成分 薬の生体での働き 内服薬と外用薬	
3. 学習上の留意点		13	5/31	アドレナリン作動成分 剤型ごとの違い、適正な使用方法			
<p>医薬品の知識、特に薬効などは正確に覚えるためにも反復学習は必ず実施して下さい。</p> <p>自身の専門性のやりがいや、楽しさを理解し把握する時期ですので、受講にあたっては、積極的な参加を希望します。</p> <p>指定の教科書は授業の際、必ず持参すること。</p>		14	6/1	麻薬性鎮咳成分 ショック 重篤な皮膚粘膜			
		15	6/7	非麻薬性鎮咳成分 偽アルドステロン症 抵抗力の低下			
		16	6/8	精神神経障害、細菌性髄膜炎、その他、消化器障害			
		17	6/14	気管支拡張成分 イレウス様症状 呼吸器系に現れる副作用 循環器系に現れる副作用、泌尿器系に現れる副作用			
		18	6/15	キサンチン系成分 感覚器系に現れる副作用 皮膚に現れる副作用、中枢神経系			
		19	6/21	去痰成分 神経問題			
		20	6/22	カフェイン 眼 鼻			
4. テキスト		21	6/28	解熱鎮痛薬復習 耳			
<p>登録販売者研修テキスト(薬事日報社ド・モ)プリント</p> <p>登録販売者過去問題集</p>		22	6/29	ジフェンヒドラミン塩酸塩 皮膚			
		23	7/5	抗炎症成分復習 骨 筋肉 循環器系(血漿まで)			
		24	7/6	循環器系 まとめ			
5. 成績評価の方法・基準		25	7/12	抗ヒスタミン成分復習 循環器系過去問題み合わせ 泌尿器系			
<p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試</p> <p>A 総合評価 90点以上</p> <p>B 総合評価 70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価 60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価 60点未満→単位不認定</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、検定合格・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p> <p>※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		26	7/13	フロムワレリル尿素 アリルイソプロピルアセチル尿素 呼吸器			
		27	7/19	抗コリン成分復習 口腔 咽頭 食道 胃 小腸			
		28	7/20	膵臓 胆嚢 肝臓 大腸 肛門			
		29	7/26	第2章 まとめ			
		30	7/27	期末まとめ			
		評価		期末試験			
		試験					

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D		
講義名	ビジネス実務		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	水2	301	
担当者	坂口 和江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備 考
			有	必修	講・演	1	
実務経験のある教員による授業内容	事務職経験が3年以上ある教員が、ビジネス実務について教育を行う科目						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
<p>現代の社会や企業から求められるビジネス能力の養成をはかります。社会人として必要となる基本的な知識・マナーを身につけ、就職活動に対応できるレベルに加え、入社後すぐに活躍できるスキルの習得をめざします。</p> <p>自ら考え、行動できること、また「わかる」ではなく「できる」ようになるための実践的な講座です。</p>	No.	日付	授業内容	
	1	4/12	働く意義	
	2	4/19	B検について 仕事の基本となる8つの意識	
	3	4/26	仕事の基本となる8つの意識	
	4	5/10	職場でのコミュニケーションの重要性	
	2. 目標検定・資格	5	5/17	ビジネスマナーの基本と就業中のマナー (身だしなみ、挨拶の基本姿勢)
	ビジネス能力検定3級	受験対象		
		全員		
	実施日	2024年1月試験週		
	6	5/24	指示の受け方と報告・連絡・相談	
	3. 学習上の留意点	7	5/31	話し方の基本 感じの良い言葉遣い
	授業はさまざまなグループワークを導入した展開とするので、積極的な参加が不可欠となります。まずは、理解した内容はグループ全員が共有できるよう教えあうことが大切です。クラスメイトとコミュニケーションを取ることで、自分の意見を伝えることを意識的に行ってください。	8	6/7	ポジティブ表現 質問力
	4. テキスト	9	6/14	聴く力 来客対応
	ビジネス能力検定3級ジョブパス公式テキスト2022年度版(日本能率協会マネジメントセンター)	10	6/21	来客対応のマナー、流れを知る
	5. 成績評価の方法・基準	11	6/28	訪問の基本マナー
出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする	12	7/5	会社関係でのつき合い	
	13	7/12	冠婚葬祭のマナー	
	14	7/19	期末テスト	
	15	7/26	自己分析、自己紹介文	
	評価			
	試験			

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース	学年・クラス	1D	
講義名	医療保障 I		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	水3	304
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講義	1
実務経験のある教員による授業内容	医療従事者として検査・研究機関に勤務した経験を持つ教員が、医療保障ほかについて教育を行う科目。					

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
日本では国民の誰もが必要な時に適切な医療を受ける権利を保障するために様々な制度が創設されています。 特に、医療機関(調剤薬局を含む)で取り扱う機会の多い医療保険制度を重点に、「健康保険制度」「後期高齢者医療制度」、「公費負担医療制度」、「労働者災害補償保険制度」を学び、医療機関の受付に必要な知識を学びます。	No.	日付	授業内容
	1	4/12	民法と保険診療の関係 ①医療保険制度ってなんだろう？
	2	4/19	②医療保険にはどんな種類がある？ ※被用者保険
	3	4/26	②医療保険にはどんな種類がある？ ※国民健康保険
2. 目標検定・資格	4	5/10	③医療保険で何をしてもらえる？ ・年齢・所得で違う患者負担
	5	5/17	・償還払い・任意継続被保険者 ④医療保険が使えない場所ってどんなとき？ 例まで
関連の検定は、「医療事務」「調剤事務」「歯科事務」	6	5/24	・保険外併用療養費
受験対象 全員	実施日		
3. 学習上の留意点	7	5/31	・復習
医療関連機関で働くものとして知らなければいけない知識です。新しい名称が多く、覚えることは大変ですが、現場ですぐ必要な知識です。積極的に授業に参加し知識を深め、人に伝えられるようにして下さい。	8	6/7	⑤公費負担医療制度 * 検定問題
4. テキスト	9	6/14	・主な公費負担医療制度 * 検定問題
	10	6/21	⑥労働者災害補償保険制度 * 検定問題
改訂 医療概論(建帛社)プリント	11	6/28	⑦高額療養費制度
5. 成績評価の方法・基準	12	7/5	日本の医療費医療費上昇理由と対策および今後の課題
出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする	13	7/12	⑧医療保険制度まとめ 社会保険について 日本の医療保険 医療保険のしくみ
	14	7/19	まとめ
	15	7/26	期末試験
	評価		
	試験		

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	医療概論		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	水4	302
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講義	1
実務経験のある教員による授業内容	医療従事者として検査・研究機関に勤務した経験を持つ教員が、医療概論ほかについて教育を行う科目。					

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)	
1.目まぐるしく変化する医療の中で満足した職業意識を持ち続ける為に、自己啓発の心掛けと、幅広い医療・医学の知識を柔軟に受け入れ理解する必要がある。早期に職業観を持つ事を目的とする。	No.	日付
2. 病める人を単に病気だけでなく総合的に理解できるような医療従事者を目指すために、暖かく相手の身になって考える心が必要であることを理解し、病める人にとっての必要な医療とは何かについて学ぶ。	1	4/12
3. 医療施設・医療を支えている職種を知る	2	4/19
2. 目標検定・資格	3	4/26
医療秘書検定 医薬品登録販売者	4	5/10
受験対象 全員	5	5/17
実施日 秘書11/5(日)登販 2024. 9	6	5/24
3. 学習上の留意点	7	5/31
授業は意欲的に参加し、日頃から医療・医学に関わる話題などはチェックする。別途配布する資料は正しく整理して必ず保管しておくこと。	8	6/7
4. テキスト	9	6/14
改訂 医療概論(建帛社)プリント	10	6/21
5. 成績評価の方法・基準	11	6/28
出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする	12	7/5
	13	7/12
	14	7/19
	15	7/26
	評価 試験	



科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	化粧品 I		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	木1	302
担当者	滝澤 幸子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			無	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)				
化粧品の良し悪しを評価するのではなく成分や働きを理解し、目的にあった使い方ができるようになることを目指します。 間違えがちな化粧品や美容の知識のほか、皮膚の構造や肌悩みに対する化粧品の選び方などを習得していきます。  医療機関やドラッグストアなど、就職後に活躍の幅を広げられるほか、自分自身の役立つ知識にもつながります。		No.	日付	授業内容		
		1	4/13	間違えがちな美容知識①		
		2	4/20	間違えがちな美容知識②		
		3	4/27	間違えがちな美容知識③		
		4	5/11	間違えがちな美容知識④		
2. 目標検定・資格		5	5/18	間違えがちな美容知識⑤		
1年次 日本化粧品検定3級 (2年次 日本化粧品検定2級)	受験対象 全員	6	5/25	皮膚の構造 表皮①		
実施日		7	6/1	皮膚の構造 表皮②		
3. 学習上の留意点		8	6/8	皮膚の構造 表皮③		
3級・自分の知識を正す 2級・肌に適した化粧品の選び方を習得 1級・化粧品の専門家を目指す 授業では2級の取得となりますが、希望があれば1級「コスメコンシェルジュ(あらゆる肌悩みに対し最適な化粧品を選び出せるプロ)」の受験にもつなげることができます。		9	6/15	皮膚の構造 表皮④		
		10	6/22	真皮のしくみ①		
日本化粧品検定2.3級対策テキスト 日本化粧品検定2.3級対策問題集		11	6/29	真皮のしくみ②		
		12	7/6	真皮のしくみ③		
5. 成績評価の方法・基準		13	7/13	真皮のしくみ④		
出席率80%以上必須 期末試験60%未満は追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを考慮し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもってC評価とする		14	7/20	日本化粧品検定3級受験		
		15	7/27	まとめ		

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	パソコン基礎 I (Word)	回数	講義期間	曜日・時限	教室	
		15	前期	金・1	201	
担当者	坂口 和江	実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
		有	必修	演習	1	
実務経験のある教員による授業内容		事務職経験が3年以上ある教員が、パソコン基礎ほかについて教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)						
<p>業務においてWordとExcelは車輪の両輪として多く活用されています。</p> <p>本講義では、サーティファイのWord文書処理技能認定試験2級合格を目指します。2級は知識科目があるため、知識科目の対策はプリント学習で基本的に自習となります。</p> <p>パソコンの授業は、聴く力と練習量で確実に身に付きます。復習と入力練習を自己学習でも取組み、合格を目指してください。</p>		No.	日付	授業内容				
		1	4/14	サーティファイ検定試験概要 文字入力練習				
		2	4/21	文字入力練習 Word基礎確認(プリント)				
		3	4/28	文字入力練習 Word基礎確認(プリント)				
		4	5/12	文字入力練習 Word基礎確認(プリント)				
		2. 目標検定・資格		5	5/26	Word3級総合演習問題		
		Word 文書処理技能認定試験2級 (サーティファイ)	受験対象 全員	6	6/2	文字入力練習 Wordクイックマスター Chapter1		
		実施日	2023/8/4(予定)	7	6/9	文字入力練習 Wordクイックマスター Chapter2		
		3. 学習上の留意点		8	6/16	文字入力練習 Wordクイックマスター Chapter3		
		<p>1回、1回の講義内容が重要です。欠席した部分を改めて補う時間は取れません。健康に留意し、遅刻・欠席の無いように心がけてください。テキストとUSB、筆記用具は必ず持参してください。</p> <p>なお、自宅での学習を並行すると学習結果が大きく異なります。復習時間をできるだけ作ってください。</p>		9	6/23	文字入力練習 Wordクイックマスター Chapter4		
				10	6/30	文字入力練習 Wordクイックマスター Chapter5		
				11	7/7	文字入力練習 Wordクイックマスター Chapter6		
		Microsoft Word クイックマスター 2019 応用編		12	7/14	検定対策・模擬問題①		
		5. 成績評価の方法・基準		13	7/21	検定対策・模擬問題②		
		<p>出席率80%以上必須、検定試験結果60%未満は、追試</p> <p>A 総合評価 90点以上</p> <p>B 総合評価 70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価 60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価 60点未満</p> <p>※検定試験結果の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p> <p>※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		14	7/28	検定対策・模擬問題③		
15	8/1(火)			検定対策・模擬問題④				
評価 試験								

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	スポーツ健康学		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			30	前期	金3・4	施設
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			無	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)			
<p>食べ物から摂取したエネルギーと運動により消費したエネルギーがバランスよく保たれていることが健康の為に良い状態です。しかし食べる量は変わらず、運動を行わないと摂取エネルギーが消費エネルギーを上回り、使われなかったエネルギーは脂肪としてからだに蓄えていきます。将来、このような説明ができるようになるためには、自ら経験することによって、より説得力を身につける。</p> <p>仲間と協調することで地域共創力につながるコミュニケーション力を身につける。</p>		No.	日付	授業内容	
		1	4/14	履修内容についてのガイダンス(HR教室)	
		2	4/21	古牧体育館 (バレーボール)	
		3	4/28	芹田体育館 (バスケットボール)	
		4	5/12	会場: 未定	
		2. 目標検定・資格	5	5/26	会場: 未定
			受験対象		
		実施日	6	6/2	会場: 未定
		3. 学習上の留意点	7	6/9	会場: 未定
		服装については、特に色・デザイン等の指定はないが、運動に適したジャージ類、トレーナー・スウェット類、Tシャツなどを着用すること。	8	6/16	会場: 未定
		体育館や競技場は毎回変わります。	9	6/23	会場: 未定
		4. テキスト	10	6/30	会場: 未定
		参考にして欲しい本や文献に関しては、授業において紹介する	11	7/7	会場: 未定
		5. 成績評価の方法・基準	12	7/14	会場: 未定
		出席率80%以上必須。 授業参加への積極性と協調性から評価を行う。	13	7/21	会場: 未定
	14	7/28	会場: 未定		
	15	8/1 (火)	まとめ(HR教室)		
	評価 試験				

科名	医薬サポート	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	基礎学力講座 SPI対策		回数	期間	曜日・時限	教室
			30	1年	木4	301
担当者	鈴木詩郎		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
				必修	講・演	2
実務経験ある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)					
昔から「読み書きそろばん」と言われるように、言葉や計算の基礎は人が社会生活を営む上で必要不可欠な知識であり、「生きる力」の基盤となるものです。この講座では基礎学力や社会常識の定着を図り、自ら考える力の育成を目指します。また就職活動で力を最大限に発揮できるよう支援するのがこの講義の目的です。	授業日	コマ	計画			
			講座オリエンテーション/計算基礎テスト			
3. 学習上の留意点 ①得意な領域を伸ばし、苦手な分野を克服する姿勢で臨むこと。 ②テキストや冊子を繰り返し解いて、問題形式に慣れ、1冊の問題集を完全に自分のものにする。こと。 ③分からない問題は、中学、高校の教科書を見直したり、人に聞いたりして、基礎理解の確認を怠らないこと。	7月6日	1	一般常識(時事・一般教養)			
	7月13日	1	言語能力: 同義語・対義語			
	7月20日	1	言語能力: 二語の関係			
	7月27日	1	言語能力: 熟語の構成			
	9月7日	1	非言語能力: 計算・数的問題(速さ・距離・時間①)			
	9月14日	1	非言語能力: 計算・数的問題(速さ・距離・時間②)			
	9月21日	1	非言語能力: 計算・数的問題(流水算)			
	9月28日	1	中間整理テスト			
	10月5日	1	社会常識: 敬語基礎			
	10月12日	1	社会常識: 敬語応用			
	10月19日	1	社会常識: 敬語演習			
	10月26日	1	非言語能力: 計算・数的問題(割合と比)			
	11月2日	1	非言語能力: 計算・数的問題(塩水問題)			
	11月9日	1	非言語能力: 計算・数的問題(表の計算)			
	11月16日	1	非言語能力: 計算・数的問題(仕事算)			
	11月30日	1	非言語能力: 計算・数的問題(分割算)			
	12月7日	1	確認テスト			
12月14日	1					
4. テキスト	2024年					
『SPI&テストセンター1200題』 問題演習プリント集	4月12日	1	言語能力: 語句の意味			
	4月19日	1	言語能力: 語句の用法①			
5. 成績評価の方法・基準	4月26日	1	言語能力: 語句の用法②			
①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。 A・・・90点以上、B・・・70点以上、C・・・60点以上、D・・・60点未満。	5月10日	1	言語能力: 文の並べ替え			
	5月17日	1	非言語能力: 論証問題(推論①)			
	5月24日	1	非言語能力: 論証問題(推論②)			
	5月31日	1	非言語能力: 論証問題(推論③)			
	6月7日	1	非言語能力: 論証問題(集合①)			
	6月14日	1	非言語能力: 論証問題(集合②)			
	6月21日	1	非言語能力: 計算・数的問題(損益算)			
	6月28日	1	非言語能力: 計算・数的問題(代金精算)			
	2024//	1	総合試験			
		合計コマ数	30			

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート	学年・クラス	1D	
講義名	医療保障Ⅱ		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	月・1	304
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			無	必修	講	1
実務経験のある教員による授業内容	医療従事者として検査・研究機関に勤務した経験を持つ教員が、医療保障ほかについて教育を行う科目。					

1、我が国は世界一の高齢社会となり、社会保障の構造改革の一環として制定された介護保険法の制度や実務を学習し、医療従事者、社会人としての知識・意識を高める。	No.	日付	授業内容
	1	9/4	医療秘書検定医療保障部門対策 【医療秘書実務】【医療機関の組織・運営、医療関係法規】※第49回 1～50
2、私たちも高齢者の存在意義、高齢者の理想像を考え、老人福祉の大切さを学ぶ。	2	9/11	医療秘書検定医療保障部門対策 【医療秘書実務】【医療機関の組織・運営、医療関係法規】※第50回 1～50
	3	9/25	医療秘書検定医療保障部門対策 【医療秘書実務】【医療機関の組織・運営、医療関係法規】※第51回 第52回
3、医療秘書検定の医療保険分野の対策。	4	10/2	医療秘書検定医療保障部門対策 【医学知識対策】【医学英語】
	5	10/16	医療秘書検定医療保障部門対策 【医学的基礎知識⑤領域】
2. 目標検定・資格	6	10/23	医療秘書検定医療保障部門対策 【医学的基礎知識⑤領域】
医療秘書技能検定	受験対象	全員	
実施日	2023/11/10(金)		
3. 学習上の留意点	7	10/30	医療秘書検定医療保障部門対策 【医学的基礎知識⑤領域】
	8	11/6	医療秘書検定 解答と解説 医療保障部門および医学医療知識
「高齢者に対する思いやりや優しさ」、「介護の安心」など、みんなで考えます。意欲的に参加すること。 11月までは、医療秘書検定対策を実施します検定合格に向けて頑張りましょう！！	9	11/13	医療秘書検定 解答と解説 医療保障部門および医学医療知識 合計特殊出生率 高齢者の定義
	10	11/20	フランスが実施した少子化対策 女性はなぜ男性より長生きするのか
4. テキスト	11	11/27	介護保険制度の目的 介護保険制度の仕組み 介護・介護予防サービスの種類とその概要
医療秘書技能検定実問題集3級① 医療概論 プリント	12	12/4	介護保険制度を学ぶにあたり 高齢者の定義 合計特殊出生率 フランスなどが実施した少子化対策
5. 成績評価の方法・基準	13	12/11	介護保険の保険者 保険料の格差 被保険者について 女性はなぜ男性より長生きするのか
出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 出席率不足は課題提出 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※期末試験の点数(60%)に、検定合格・授業態度・単元小テスト(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする。	14	12/18	どうして長野県は日本一の長寿県なのか 介護保険料について
	15	1/10 (水)	期末試験 医療保障(介護保険)テスト
	評価		
	試験		

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート	学年・クラス	1D	
講義名	医療事務 B.C		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			60	後期	月2・3・火4・金1	304
担当者	滝澤 幸子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	3
実務経験のある教員による授業内容	医療事務協会においてレセプト作成および講師として勤務した経験がある教員が、医療関連の事務において教育を行う科目。					

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)	
①前期は外来医療を中心に診療報酬算定を学びましたが、さらに入院の算定を学び全般的な理解を深め、医療事務技能認定試験の合格を目指します。診療報酬点数表およびサポートブックを使いこなし、現場感覚で業務ができる力を身につけます。医科全般は広範囲となり、幅広い知識が必要とされますので、点数制度の基礎をきちんと理解します。	No.	日付
	1	<9月4日～10月27日>
②調剤事務管理士技能認定検定の合格を想定し、調剤薬局の現場で事務が行えるように基本知識を学びます。	2	医療事務管理士検定対策 ・前期(外来)の復習 ・入院料算定 ・学習レポート ・トレーニングブック ・技能認定試験学科問題
	3	
2. 目標検定・資格	4	医療秘書技能検定試験検定対策 ・練習問題および過去問問題集(医療事務分野)
①医療事務技能士認定試験(IBT)	5	<10月30日～1月12日> 調剤事務知識の習得
②調剤事務認定実務者試験	6	・処方箋の知識と調剤報酬の算定 ・調剤基本料 ・調剤料 ・薬剤料 ・練習問題集 ・調剤事務認定実務者試験対策
実施日	7	医事2023年10月末・調剤2024年1月末
3. 学習上の留意点	8	
積み重ねの練習が大切です。課題に積極的に取り組むことで理解が深まるため、繰り返しの練習により算定技術を習得します。	9	
4. テキスト	10	
医科医療事務テキスト、診療報酬点数早見表、医科試験問題集、調剤報酬事務&レセプト作例集ほか	11	
5. 成績評価の方法・基準	12	
出席率80%以上必須 期末試験60%未満は、追試	13	
A 総合評価 90点以上	14	
B 総合評価 70点以上、90点未満	15	
C 総合評価 60点以上、70点未満		
D 総合評価 60点未満		
検定試験の点数(60%)に、授業態度(40%)合否・授業態度などを加味し、総合的に判断する。		
	評価	検定試験代替
	試験	

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート	学年・クラス	1D	
講義名	医療事務コンピューター		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			30	後期	月4・金3・4	201
担当者	滝澤 幸子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講演	1
実務経験のある教員による授業内容	医療事務協会においてレセプト作成および講師として勤務した経験がある教員が、医療関連の事務において教育を行う科目。					

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
<p>・前期で学んだ診療報酬点数制度の仕組みを、コンピューターでも算定できるようにし、更なる理解を深めることを目的とします。また、診療科別の症例を扱い特徴をつかみます。</p> <p>・現場でのレセプト作成はコンピューターが主流のため、実践に役立つよう医療用コンピューターの操作を覚え、点数算定のコツと処理能力の速度を磨きます。さらに、医療事務コンピューター技能検定試験には「医療事務」の分野も出題されることから、診療報酬点数表活用方法もマスターします。</p> <p>・電子カルテの流れを体験し、インターンシップに備えます。</p>	No.	日付	授業内容	
	1	9月4日	オリエンテーション・操作方法説明	
	2	9月8日	カルテ問題集 第0-1.0-2入力方法確認	
	3			
	4	9月11日		
	5	9月15日		
	6			
	7	9月22日		
	8			
	2. 目標検定・資格	9	9月25日	カルテ問題集&過去問題
	医事コンピューター技能検定(3級)	10		入力練習
	受験対象	11	9月29日	
	全員	12	10月2日	外来の診療所、病院、各科ごとの特徴を理解しながら入力を行う。
	実施日	13	10月6日	また、診療報酬点数表の仕組みを理解するとともに、入力速度の向上に努める。
	3. 学習上の留意点	14	10月16日	
	<p>・操作に携わる回数を増やすことで身についていくので、わからないことはその場で確認し、積極的に練習問題に取り組みましょう。</p> <p>・外部講師による電子カルテの体験授業では、実践を想定して積極的に参加しましょう。</p>	15	10月16日	
		16	10月20日	
		17		
		18	10月23日	
		19		
20		10月27日		
4. テキスト	21	10月30日	医事CP検定模擬試験	
医事NaviⅢ操作テキスト コンピューター入力練習用カルテ問題集 医事コンピューター技能実問題集①、②	22	11月6日	医療秘書検定試験・医事CP過去問復習	
5. 成績評価の方法・基準	23	11月10日	医療秘書検定試験	
<p>出席率80%以上必須 期末試験60%未満は、追試</p> <p>A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満</p> <p>検定試験の点数(60%)に、授業態度(40%)合否・授業態度などを加味し、総合的に判断する。</p>	24			
	25	11月13日	学科対策	
	26	11月17日	医事CP検定試験	
	27			
	28		電子カルテの基礎知識	
	29	1月下旬	外部講師による「電子カルテ」体験	
	30			
	評価試験			検定試験代替

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	1D		
講義名	就職支援		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	後期	火1	301・201	
担当者	吉家 昭雄		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必須	講・演	1	
実務経験のある教員による授業内容							

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
以下の順で就職への心構えをつくり、就職活動の準備をしていきます。 ①就職活動の前準備を知る 活動に必要な基礎的能力を身に付ける 的な職業理解 動の概要を理解する  ②職業・企業に関する情報を集める 情報を分析する 業を決定し会社を決定する 定を勝ち取る	No. 日付 授業内容		
	1	9/6	モチベーションアップ2(面接指導)
③ ④職 ⑤内	2	9/13	履歴書・エントリーシートの書き方
	3	9/20	自己アピール文章の書き方1
無	4	9/27	自己アピール文章の書き方2
	5	10/4	自己アピール文章の書き方3
受験対象	6	10/18	自己アピール文章の書き方4
	7	10/25	履歴書の書き方1
3. 学習上の留意点	8	11/1	履歴書の書き方2
連続した授業ですので、100%の出席を目指してください。	9	11/15	履歴書の書き方3
	10	11/22	就職活動計画と報告の仕方(履歴書の書き方まとめ)
4. テキスト	11	11/29	面接試験の受け方
就職ノートファイル 要に応じて資料を配布	12	12/6	学内面接練習1
5. 成績評価の方法・基準	13	12/13	就職サイト・エントリー / SPI 模試
必要出席率80%以上必須、評価は課題レポートと授業態度(40%以内)で総合的に評価する。 ※やむを得ず欠席した場合、授業内容に応じた課題を提出  A 総合評価90点以上 B 総合評価70点以上、90点未満 C 総合評価60点以上、70点未満 D 総合評価60点未満→単位不認定	14	1/10	合同説明会のまわり方
	15	1/17	学内面接練習2
	評価 試験		



科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	ビジネス実務		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	火2	301
担当者	坂口 和江		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容		事務職経験が3年以上ある教員が、ビジネス実務について教育を行う科目				

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)					
<p>現代の社会や企業から求められるビジネス能力の養成をはかります。社会人として必要となる基本的な知識・マナーを身につけ、就職活動に対応できるレベルに加え、入社後すぐに活躍できるスキルの習得をめざします。</p> <p>自ら考え、行動できること、また「わかる」ではなく「できる」ようになるための実践的な講座です。</p>		No. 日付 授業内容					
		1	9/5	リフレクション①			
		2	9/12	リフレクション②			
		3	9/19	仕事への取り組み方 効率的・合理的な仕事の進め方			
		4	9/26	スケジュール管理と情報整理、 仕事とIT(Eメール)の活用、書き方			
		2. 目標検定・資格		5	10/3	ビジネス文書の種類 その役割と書き方 社内文書の種類と作成例	
		ビジネス能力検定3級		受験対象		6	
				全員		10/10	
		実施日		2024年1月、後期試験週			
		3. 学習上の留意点		7	10/17	社外文書	
		<p>授業はさまざまなグループワークを導入した展開とするので、積極的な参加が不可欠となります。まずは、理解した内容はグループ全員が共有できるよう教えあうことが大切です。クラスメイトとコミュニケーションを取ること、自分の意見を伝えることを意識的に行ってください。</p>		8	10/24	電話対応① 電話対応の重要性	
				9	10/31	電話対応② 受け方・かけ方演習	
				10	11/14	情報分析のための表とグラフ データの読み方・まとめ方	
		4. テキスト		11	11/21	情報収集とメディア活用	
		ビジネス能力検定3級ジョブパス公式テキスト2021年度版(日本能率協会マネジメントセンター)		12	11/28	会社を取り巻く環境と経済の基礎	
5. 成績評価の方法・基準		13	12/5	検定対策			
<p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試</p> <p>A 総合評価 90点以上</p> <p>B 総合評価 70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価 60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価 60点未満→単位不認定</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、検定可否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p> <p>※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		14	12/12	検定対策			
		15	12/19	検定対策 まとめ			
		評価					
		試験					

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート	学年・クラス	1D	
講義名	医療秘書		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	火・3	304
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講	1
実務経験のある教員による授業内容		医療機関に勤務した経験を持つ教員が、医療秘書ほかについて教育を行う科目。				

<p>医療事務を含む広義での医療秘書の、医療機関での存在と役割を学び、これからの自分の有るべき姿を考える。あわせて医療法など法規の上に立った医療の在り方とともに患者とのコミュニケーションのありかたを学ぶ。</p> <p>医療秘書検定【医学的基礎知識】に出題される臨床検査の内容も実施する。</p> <p>医療事務実習、実習前学習も実施する。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <table border="1"> <tr> <td>医療秘書技能検定</td> <td>受験対象 全員</td> </tr> </table> <p>実施日 2023/11/12(日)※11/10(金)</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>就職をにらみ将来の自分につながることを意識しながら積極的に授業に臨んでください。</p> <p>4. テキスト</p> <p>医療秘書検定実問題集①②&lt;つちや書店&gt; 医療事務実習資料 プリント</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 出席率不足は課題提出 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度・単元小テスト(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする。</p>	医療秘書技能検定	受験対象 全員	No.	日付	授業内容
	医療秘書技能検定	受験対象 全員			
	1	9/5	臨床検査(一般検査)		
	2	9/12	臨床検査(血液検査)		
	3	9/19	臨床検査(生化学検査【肝機能検査・脂質検査】)		
	4	9/26	臨床検査(生化学検査【腎機能検査・尿酸】) 糖尿病関連検査		
	5	10/3	医学英語 医療で使われる略語 第〇回問題		
	6	10/10	医療秘書検定医療保障部門対策 【医学的基礎知識】※泌尿器、内分泌、細胞		
	7	10/17	医療秘書検定医療保障部門対策 【医療秘書実務】【医療機関の組織・運営、医療関係法規】。 ※第54/55回問題		
	8	10/24	業務意識と役割意識 事例での対応①を考える		
	9	10/31	業務意識と役割意識 事例での対応②を考える		
	10	11/14	業務意識と役割意識 事例での対応③④を考える		
	11	11/21	業務意識と役割意識 事例での対応⑤		
	12	11/28	医療事務実習オリエンテーション4ページまで 実習前学習(職業意識・業界理解)		
	13	12/5	医療事務実習オリエンテーション5~6ページ 実習生個人票下書き		
14	12/12	実習生個人票仕上げ 実習医療機関の情報収集			
15	12/19	インターンシップオリエンテーション 実習ファイル配布			
	評価 試験				

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	コミュニケーション応用		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	水1	301
担当者	野村 恵美		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
<p>私たちは、社会の中で多くの人に囲まれて暮らしています。人とつながり、自身の世界を広げていくために、自己を知り他者との関わり方を見つめてみましょう。</p> <p>自分の強み、持ち味、大切にしている価値観に気づき、他者の多様性を受け止めることの大切さを理解することで、自分らしいコミュニケーションスタイルを知ることができます。</p> <p>なりたい自分、求められる自分を目指す行動力を身につけ、自信をもって自分を周囲に伝えていくために、適切な自己表現ができる力を身につけましょう。</p>	No.	日付	授業内容
	<p>2. 目標検定・資格</p> <p>なし</p> <p>受験対象</p>	1	9/6
<p>3. 学習上の留意点</p> <p>グループワーク、ワークショップを通じて、知識・テクニックのインプットとアウトプットを重ねる体感型の実践的内容となります。</p> <p>クラス相互の学び合いの場として、積極的な受講・参加を希望します。</p>	2	9/13	Part2.MD1.プラス思考で可能性を広げる
<p>4. テキスト</p>	3	9/20	人とのつき合い ・人が持っている「粹組み」を知ろう
<p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>必要出席率80%以上必須、評価は期末課題レポートと授業態度(40%以内)で総合的に評価する。</p> <p>A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定</p>	4	9/27	人は、“良い”“悪い”で判断する ・好き嫌いにあらわれる「価値観」
	5	10/4	何から起こるのか？ ・日常生活は「思い込み」でいっぱい
	6	10/11	分かち合うコミュニケーション ・違いは間違いではない。違いはどこから？
	7	10/18	コミュニケーションの実際「聴くこと」 ・わかったつもりのやり取り
	8	10/25	コミュニケーションの実際「話すこと」 ・誤解がおこりにくい話し方
	9	11/1	感情の様々な表れ方「感じる」① ・感情とのつきあい方
	10	11/8	感情の様々な表れ方「感じる」② ・感情とのつきあい方
	11	11/15	MD2.考え方を換えれば行動が変わる
	12	11/22	MD3.あなたの問題は、あなたが解決できる
	13	11/29	MD4.自分のコミュニケーションスタイル
	14	12/6	MD5.あなたの才能・可能性を開花させる
	15	12/13	まとめと振り返り ・気づきの明確化、レポート作成
	評価		
	試験		

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	パソコン基礎 I (Excel)	回数	講義期間	曜日・時限		教室
		15	後期	水・2		201
担当者	坂口和江	実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
		有	必修	演習	1	
実務経験のある教員による授業内容		事務職経験が3年以上ある教員が、パソコン基礎ほかについて教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)								
<p>ビジネスではパソコンを使わない業務はほぼないと言えるほど一般的になっています。授業の中では、あらゆる業務のなかで使用されている”Excel”の技能をサーティファイExcel表計算処理技能認定試験の2級取得を目標に学習します。2級は知識科目があるため、知識科目の対策はプリント学習で基本的に自習となります。問題をこなすだけでなく、合理的にかつ精度の高い処理を行うための講義を行います。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <table border="1"> <tr> <td>Excel表計算処理技能認定試験2級(サーティファイ)</td> <td>受験対象</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全員</td> </tr> </table> <p>実施日 2024/1/15～1/17</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>1回、1回の講義内容が濃密です。欠席した部分を改めて補う時間は取れません。健康に留意し、遅刻・欠席の無いように心がけてください。また、テキストとUSBは必ず持参してください。なお、自宅での学習なども並行すると学習結果が大きく異なりますので、復習時間をできるだけ作ってください。</p> <p>4. テキスト</p> <p>Microsoft Excel クイックマスター 2019 応用編</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須、検定試験結果60%未満は、 追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※検定試験結果の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については90%の点数を必要とする。</p>		Excel表計算処理技能認定試験2級(サーティファイ)	受験対象		全員	No.	日付	授業内容		
		Excel表計算処理技能認定試験2級(サーティファイ)	受験対象							
			全員							
		1	9/6	サーティファイ検定試験概要 Excel基礎確認(プリント)						
		2	9/13	Excel基礎確認(プリント)						
		3	9/20	Excel基礎確認-関数-(プリント)						
		4	9/27	Excel3級総合演習問題						
		5	10/4	Excel クイックマスター Chapter1						
		6	10/11	Excel クイックマスター Chapter1～2						
		7	10/18	Excel クイックマスター Chapter2						
		8	10/25	Excel クイックマスター Chapter2～3						
		9	11/1	Excel クイックマスター Chapter4						
		10	11/8	Excel クイックマスター Chapter5						
		11	11/15	Excel クイックマスター Chapter6						
		12	11/22	Excel クイックマスター Chapter7						
13	11/29	検定対策・模擬問題①								
14	12/6	検定対策・模擬問題②								
15	12/13	検定対策・模擬問題③								
		評価 試験								

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート	学年・クラス	1メディカル	
講義名	コンピュータ概論		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	水3	304
担当者	荒井 秀一		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容		教育機関のシステム担当者の教員が、コンピュータ概論ほかについて教育を行う科目				

<p>医療の世界においてIT化は急速に進んでいる。今後の電子カルテをはじめとした医療業務のIT化に対応するために必要なコンピュータやネットワークの知識を学習する。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>医事コンピュータ技能検定3級</p> <p>受験対象 全員</p> <p>実施日 11月11日(金)</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>検定前は3級範囲を中心に講義を進める。検定後については関連知識としてネットワークの分野も学習するが、期末試験範囲なのでしっかりと学んでおくこと。</p> <p>4. テキスト</p> <p>改訂医事コンピュータ関連知識 2021年度版医事コンピュータ技能検定3級問題集</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 出席率不足は補講あり</p> <p>A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>	No.	日付	授業内容
	1	9/6	コンピュータの種類 コンピュータの情報表現
	2	9/13	コンピュータの仕組みと動作 コンピュータの5大装置と機能
	3	9/20	コンピュータの仕組みと動作 周辺装置
	4	9/27	コンピュータの仕組みと動作 入出力とインターフェース
	5	10/4	ソフトウェア 分類とOS
	6	10/11	ソフトウェア OS
	7	10/18	ソフトウェア アプリケーション(ワープロ)
	8	10/25	3級問題演習①
	9	11/1	3級問題演習②
	10	11/8	試験問題の解説
	11	11/15	ネットワークの基礎
	12	11/22	インターネット
	13	11/29	表計算ソフトと活用
	14	12/6	ファイルの種類と保存形式
15	12/13	期末試験	
	評価		
	試験		

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート	学年・クラス	1D	
講義名	基礎医学Ⅱ		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	水・4	304
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講	1
実務経験のある教員による授業内容	医療従事者として検査・研究機関に勤務した経験を持つ教員が、基礎医学ほかについて教育を行う科目。					

<p>医療秘書としても医療事務職としても、よりよい働きをするためには、多くの医学的知識、医学的用語を知っていることが必要です。後期では、知っていてなじみ深い病気を取り上げ、臨床病理学・病態学知識を深めます。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <table border="1"> <tr> <td>医療秘書技能検定</td> <td>受験対象</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全員</td> </tr> </table> <p>実施日 2023/11/10(金)</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>日常、病院内で比較的多く経験される病気を取り上げます。それらが日常の仕事の中で生かされるよう、積極的に授業に参加して学習して下さい。</p> <p>4. テキスト</p> <p>改訂 基礎医学(建帛社) プリント 医療秘書検定実問題集①&lt;つちや書店&gt;</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 出席率不足は課題提出 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度・単元小テスト(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする。</p>	医療秘書技能検定	受験対象		全員	No.	日付	授業内容
	医療秘書技能検定	受験対象					
		全員					
	1	9/6	医療秘書検定 医学知識対策 心臓 血管 *参考41回・50回問題 ②領域問題も実施				
	2	9/13	医療秘書検定 医学知識対策 血液 *参考39回・40回・48回問題 ②領域問題も実施				
	3	9/20	医療秘書検定 医学知識対策 ③領域問題プリント配布 呼吸器 *参考35・42・45・51回問題 ②領域*呼吸筋も実				
	4	9/27	医療秘書検定 医学知識対策 消化器系 *36・47・49回問題 ②領域Na/Kビタミン、チアノーゼ、歯も実施				
	5	10/4	医療秘書検定 医学知識対策 泌尿器系 *37・46回問題 ②領域問題も実施				
	6	10/11	医療秘書検定 医学知識対策 医学英語 骨・関節 *39・44回問題 ②領域も実施				
	7	10/18	医療秘書検定 医学知識対策 ⑤領域				
	8	10/25	医療秘書検定 医学知識対策 ⑤領域				
	9	11/1	微生物でナンダ?(プリント1~3ページ)				
	10	11/8	微生物でナンダ(プリント3~6ページ) 感染経路				
	11	11/15	ブドウ球菌、レンサ球菌、結核菌、肺炎球菌				
	12	11/22	ボツリヌス菌、ウエルシュ菌、淋菌、大腸菌				
13	11/29	腸炎ビブリオ、レジオネラ菌、ヘリコバクターピロリ菌					
14	12/6	ウイルス					
15	12/13	期末試験					
	評価	試験					

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリスト	学年・クラス	1D	
講義名	化粧品Ⅱ		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	木1	302.304
担当者	滝澤 幸子 上杉 奈都子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			無	必修	講演	1D
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
<p>&lt;化粧品&gt; 化粧品の良し悪しを評価するのではなく、成分や働きを理解し、目的にあった使い方ができるようになることを目指します。 後期では、健康で美しい肌をつくるための生活を送るための知識を中心に学びます。</p> <p>&lt;お花&gt; アレンジメントやインテリア小物の制作を通じて「おもてなし」のアイデアの幅を広げる。様々な素材や道具に触れることで生活の知恵を学ぶ。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>2級・・・肌に適した化粧品の選び方を習得 1級・・・化粧品の専門家を目指す</p> <p>2年次後期に2級の取得を目指します。さらに希望があれば1級「コスメコンシェルジュ(あらゆる肌悩みに対し最適な化粧品を選び出せるプロ)」の受験にもつなげることができるので、幅広い知識を身につけましょう。</p> <p>4. テキスト</p> <p>日本化粧品検定2・3級テキスト 日本化粧品検定2・3級問題集</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 検定試験の点数(60%)に、授業態度(40%)合否・授業態度などを加味し、総合的に判断する。</p>	No.	日付	授業内容
	1	9/7	肌悩みの原因とお手入れ ・ニキビ(尋常性ざ瘡)
	2	9/14	肌悩みの原因とお手入れ ・毛穴
	3	9/21	肌悩みの原因とお手入れ ・シミ
	4	9/28	テーブルの花① 生花のミニアレンジメント
	5	10/5	肌悩みの原因とお手入れ ・シミ
	6	10/12	インテリアの花 和紙の田ペストリー
	7	10/19	肌悩みの原因とお手入れ ・くすみ
	8	10/26	肌悩みの原因とお手入れ ・くま
	9	11/2	インテリアの花② ドライ素材の壁掛け
	10	11/9	肌悩みの原因とお手入れ ・たるみ
	11	11/16	メイクアップの基本テクニック
	12	11/30	クリスマスリース
	13	12/7	メイクアップの基本テクニック
	14	12/14	メイクアップの基本テクニック
15	1/11	テーブルの花② 季節のアレンジメント	
評価 試験			

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	医薬品Ⅱ		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			30	後期	木・2 金・2	302
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講	2
実務経験のある教員による授業内容		医療従事者として検査・研究機関に勤務した経験を持つ教員が、医薬品ほかについて教育を行う科目。				

一般用医薬品において用いられる主な有効成分に関して、『効能効果及びその特徴』『飲み方や飲み合わせ、年齢、基礎疾患等、効き目や安全性に影響を与える要因』『起こり得る副作用』等につき理解し、購入者への情報提供や相談対応が出来るようになることを目指す。	No.	日付	授業内容		
	1	9/7(木)	かぜの諸症状、かぜ薬の働き 解熱鎮痛成分、くしゃみ鼻汁を抑える成分、鎮咳成分、去痰成分 *生薬成分		
	2	9/8(金)	かぜ薬(抗炎症成分) 葛根湯・麻黄湯・小柴胡湯・柴胡桂枝湯		
	3	9/14(木)	小青竜湯・桂枝湯、香蘇散・半夏厚朴湯、麦門冬湯 主な副作用、プロスタグランジン		
	4	9/15(金)	解熱鎮痛成分まとめ メトカルバモール		
	5	9/21(木)	鎮痛の漢方 眠気を促す代表的な成分		
	6	9/22(金)	神経の興奮・緊張緩和の生薬 神経質、精神不安、不眠の漢方		
	7	9/28(木)	これまでの漢方25品まとめ 眠気を促す薬まとめ		
8	9/29(金)	眠気を防ぐ薬			
2. 目標検定・資格	9	10/5(木)	鎮暈薬 小児鎮静薬		
登録販売者試験	受験対象	10	10/6(金)	鎮咳去痰薬	
	全員	11	10/12(木)	鎮咳去痰薬 まとめ	
実施日	2024/9/上旬		12	10/19(木)	口腔咽喉薬 含嗽薬
3. 学習上の留意点	13	10/20(金)	制酸薬		
医薬品に関する情報提供、相談対応における実践的なイメージを常に持ち続けて下さい。反復学習は必ず実施して下さい。	14	10/26(木)	健胃成分 消化成分 胃粘膜保護・修復成分		
	15	10/27(金)	消泡成分 胃液分泌抑制成分 漢方(胃) 胃薬まとめ		
	16	11/2(木)	腸の不調、薬が症状を抑える仕組み 整腸成分		
	17	11/9(木)	ロペラミド塩酸塩 腸内殺菌成分 吸着成分		
	18	11/10(金)	小腸刺激性瀉下成分 無機塩類 膨潤性瀉下成分 DSS 大腸刺激性瀉下成分 有機塩類 膨潤性瀉下成分 DSS マルツエキス 漢方処方製剤		
	19	11/16(木)	瀉下成分まとめ		
	20	11/17(金)	胃腸鎮痛鎮痙薬 浣腸薬使用方法		
登録販売者研修テキスト(薬事日報社D-モ)プリント 登録販売者過去問題集	21	11/24(金)	浣腸薬 駆虫薬		
	22	11/30(木)	強心薬 高コレステロール改善薬		
	23	12/1(金)	貧血用薬 その他の循環器用薬		
5. 成績評価の方法・基準	24	12/7(木)	痔の薬		
出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 出席率不足は課題提出 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度・単元小テスト(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする。	25	12/8(金)	泌尿器用薬 婦人薬(エストラジオールまで)		
	26	12/14(木)	婦人薬 内服アレルギー用薬(抗ヒスタミン成分まで)		
	27	12/15(金)	鼻に用いる薬		
	28	1/9(火)	眼科用薬		
	29	1/11(木)	後期まとめ		
	30	1/12(金)	期末試験		
	評価 試験				



科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	1D	
講義名	POP I		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	木3	301
担当者	村松康子		実務経験	必修・選択	単位数	備考
			有	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容		広告代理店の業務を20年間担当した経験を持つ教員が、POPについて教育を行う科目。				

<p>販売に不可欠であり又差別化対策として重要視されている手書きPOPの基礎を学びます。POPクリエイター技能審査試験の合格を念頭においてお客様の足を止めさせいかに購買に向かわせるか・・・その為のレイアウト・レタリング・キャッチフレーズ等を学び練習を重ねます。又実店舗のPOP制作や今巷で流行りのブラックボードにも挑戦します。</p> <p>2 目標検定・資格 POPクリエイター技能審査試験 受験対象</p> <p>実施日 2024年8月上旬</p> <p>3. 学習上の留意点 レタリング(ゴシック)や紙面上のレイアウトが重要になります。又売ろうとする物や告知する事柄に関しての適切なコピーと時間内にまとめ上げるスピードを身に付ける事が大切です。</p> <p>4. テキスト 販売テキスト</p> <p>5. 成績評価の方法・基準 出席率80%以上 単元毎に小課題提出 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※単元毎の課題+期末試験の評価に授業態度などを加味し、総合的に判断します。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とします。</p>	No.	日付	授業内容
	1	9/7	販売促進 POP広告についての説明 角ゴシック体(風)を描く為の基本ストロークの練習
	2	9/14	ゴシック体(風)のカタカナ・数字の練習
	3	9/21	角ゴシック体(風)のひらがな・アルファベットの練習
	4	9/28	角ゴシック体(風)のひらがな・アルファベットの練習の続き 簡単なプライスカード作成
	5	10/5	ゴシック体(風)の漢字練習
	6	10/12	丸ゴシック体(風)の文字練習 簡単なプライスカード作成
	7	10/19	飾ケイ・装飾文字の説明 装飾文字の練習
	8	10/26	レイアウトの基本(レイアウトパターン例) ショーカードの説明の後 簡単なショーカードの作成
	9	11/2	POP作品を描く (プライスカード・ショーカード)
	10	11/9	POP作品を描く (ポスター的POP)
	11	11/16	キャッチフレーズを考える POP作品を描く
	12	11/30	飾ケイ・装飾文字を使ったPOP作品を描き使用時の作品の変化を理解し応用する
	13	12/7	ポスター的POPの作成 (張出添削)
	14	12/14	基礎練習・プライスカード・ショーカードの作成 (張出添削)
15	1/11	バレンタイン関連の告知POPの作成	
評価 試験			

科名	医薬サポート	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	基礎学力講座 SPI対策	回数	期間	曜日・時限		教室
		30	1年	木4		301
担当者	鈴木詩郎	実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備 考
		無	必修	講・演	2	

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)	
昔から「読み書きそろばん」と言われるように、言葉や計算の基礎は人が社会生活を営む上で必要不可欠な知識であり、「生きる力」の基盤となるものです。この講座では基礎学力や社会常識の定着を図り、自ら考える力の育成を目指します。また就職活動で力を最大限に発揮できるよう支援するのがこの講義の目的です。	授業日	コマ 計画
3. 学習上の留意点 ①得意な領域を伸ばし、苦手な分野を克服する姿勢で臨むこと。②テキストや冊子を繰り返し解いて、問題形式に慣れ、1冊の問題集を完全に自分のものにする。③分からない問題は、中学、高校の教科書を見直したり、人に聞いたりして、基礎理解の確認を怠らないこと。	7月6日	1 講座オリエンテーション/計算基礎テスト
	7月13日	1 一般常識(時事・一般教養)
4. テキスト 『SPI&テストセンター1200題』 問題演習プリント集	7月20日	1 言語能力:同義語・対義語
	7月27日	1 言語能力:二語の関係
5 成績評価の方法・基準 ①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。A・90点以上、B・70点以上、C・60点以上、D・60点未満。	9月7日	1 言語能力:熟語の構成
	9月14日	1 非言語能力:計算・数的問題(速さ・距離・時間①)
	9月21日	1 非言語能力:計算・数的問題(速さ・距離・時間②)
	9月28日	1 非言語能力:計算・数的問題(流水算)
	10月5日	1 中間整理テスト
	10月12日	1 社会常識:敬語基礎
	10月19日	1 社会常識:敬語応用
	10月26日	1 社会常識:敬語演習
	11月2日	1 非言語能力:計算・数的問題(割合と比)
	11月9日	1 非言語能力:計算・数的問題(塩水問題)
	11月16日	1 非言語能力:計算・数的問題(表の計算)
	11月30日	1 非言語能力:計算・数的問題(仕事算)
	12月7日	1 非言語能力:計算・数的問題(分割算)
	12月14日	1 確認テスト
	2024年	
	4月12日	1 言語能力:語句の意味
	4月19日	1 言語能力:語句の用法①
	4月26日	1 言語能力:語句の用法②
	5月10日	1 言語能力:文の並べ替え
	5月17日	1 非言語能力:論証問題(推論①)
	5月24日	1 非言語能力:論証問題(推論②)
	5月31日	1 非言語能力:論証問題(推論③)
	6月7日	1 非言語能力:論証問題(集合①)
	6月14日	1 非言語能力:論証問題(集合②)
	6月21日	1 非言語能力:計算・数的問題(損益算)
	6月28日	1 非言語能力:計算・数的問題(代金精算)
	2024//	1 総合試験
	合計コマ数	30

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース		2D	
講義名	登録販売者総論 I		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			45	前期	月1、火1、水2	302
担当者	島田 涉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講義	4
実務経験のある教員による授業内容		医療従事者として検査・研究機関に勤務した経験を持つ教員が、登録販売者総論ほかについて教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)	
<p>医薬品についての基礎的・専門的知識を理解し、医薬品販売知識を深める。          医薬品、薬の働き、各制度、健康などについて説明のできる本物の登録販売者を目指します。          登録販売者試験、悔いが残らないよう支援するのがこの講義の目的です。</p>		<p>第3章 ・主な医薬品とその作用(1年次からの続き)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 婦人薬</li> <li>2 内服アレルギー用薬(鼻炎用内服薬を含む)</li> <li>3 鼻に用いる薬</li> <li>4 眼科用薬</li> <li>5 皮膚に用いる薬</li> <li>6 歯や口中に用いる薬</li> <li>7 禁煙補助剤</li> <li>8 滋養強壮保健薬</li> <li>9 漢方処方製剤・生薬製剤</li> <li>10 公衆衛生用薬</li> <li>11 一般用検査薬</li> </ol>	
2. 目標検定・資格		第4章 ・薬事関係法規・制度	
医薬品登録販売者	受験対象 全員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 薬事法の目的</li> <li>2 医薬品の分類・取扱い</li> <li>3 医薬品の販売業の許可</li> <li>4 医薬品販売に関する法令遵守</li> </ol>	
実施日	2023.9月	第5章 ・医薬品の適正使用・安全対策	
3. 学習上の留意点		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医薬品の適正使用情報</li> <li>2 医薬品の安全対策</li> <li>3 医薬品の副作用等による健康被害の救済</li> <li>4 一般用医薬品に関する主な安全対策</li> <li>5 医薬品の適正使用のための啓発活動</li> </ol>	
4. テキスト		登録販売者試験対策	
登録販売者研修テキスト(薬事日報社ド・モ) 過去問題集 プリント		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人体の解剖と機能</li> <li>2 薬の働きと副作用</li> <li>3 医薬品の知識</li> </ol>	
5. 成績評価の方法・基準		会社説明会あり	
出席率80%以上必須、期末試験60%未満は追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※期末試験の点数(60%)に、検定可否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする		4/10(月)1限目 ツルハドラッグ  ☆6/5(月)薬学検定 ☆6/19(月)レクリエーション	

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D	
講義名	基礎ペン字		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	月2	405
担当者	岡澤 由香		実務経験	必修・選択	単位数	備考
			無	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)				
<p>昨今の新型コロナウイルス感染症拡大によるワークスタイルのオンライン化に伴い、手書きをする機会は減少しつつあります。ですが、心のこもった手書きの文字は、皆さんの人間性や感情を率直に表し、心からの気持ちを臨場感のある情報として伝える優れたツールとなり、絶大なる力を発揮します。この授業では、翌年に社会に出てすぐに役立つ硬筆の基本的な書法を学び、ビジネス題材に於いての実践練習を重ねます。特に前期は、就活に重要な美しい履歴書の作成に重きを置いた基礎重点の授業構成とし、社会人として是非知っておきたい書法のマナー等も合わせて学習します。</p>		No.	日付	授業内容		
		1	4/10	自分の字を知ろう！ 在の実力診断&字のタイムカプセル作成	現	
		2	4/17	ひらがなの単体① 文字はまずひらがなから	美	
		3	4/24	ひらがなの単体②		
		4	5/1	ひらがなの応用		
		5	5/8	カタカナ・数字のポイント		
		6	5/15	漢字・部首と字形の整え方① 文字には法則がある！	美	
		7	5/22	漢字・部首と字形の整え方②		
		8	5/29	漢字・部首と字形の整え方③		
		9	6/5	漢字・部首と字形の整え方④		
		10	6/12	漢字かな交じり文・漢数字		
		11	6/26	履歴書対策① 美しい名前のポイント		
		12	7/3	履歴書対策② 住所のポイント		
		13	7/10	履歴書対策③ 頻出用語・実践練習		
		14	7/24	履歴書対策④ 封筒・ハガキの表書き		
15	7/31	前期試験				
2. 目標検定・資格						
無		受験対象				
3. 学習上の留意点						
授業中だけでなく、日常生活の中でも、意欲的&積極的に、学習意識ある文字を書く姿勢を求めます。						
4. テキスト						
書き込み式ボールペン字実用練習帳 和田康子 成美堂出版						
5. 成績評価の方法・基準						
出席率80%以上 単元毎に小課題提出 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※毎時間の課題の評価に、意欲・理解力・授業態度(睡眠・おしゃべり・携帯)等を加味し、きちんと学習している学生が正しく評価されるよう、総合的に判断します。 ※追試については80%の点数をもって、C評価以上とする。						
		評価				
		試験				

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース	学年・クラス	2D	
講義名	医療事務D(歯科)		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			45	前期	月3・火3・水3	304
担当者	塚原 実佳 澤幸子	滝	実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	3
実務経験のある教員に		歯科衛生士として勤務している経験を持つ教員が、歯科医療事務について教育を行う科による授業内容				
		歯科衛生士として勤務している経験を持つ教員が、歯科医療事務について教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)	
医療事務員の仕事の一分野として歯科医院勤務も視野に入ります。そこで、歯科診療報酬制度の仕組みをレセプト作成で学び「歯科医療事務管理士」資格取得をめざします。		No.	日付
実際の業務においてはドクターがカルテに記入することがほとんどですが、ドクター・歯科衛生士のアシスタントをするにあたって診療の流れを知ることが大切なことです。		1	4/10月
		2	4/11火
		3	4/12水
		4	4/17月
		5	4/19水
		6	4/24月
		7	4/25火
		8	4/26水
		9	5/1月
		10	5/2火
		11	5/8月
		12	5/9火
2. 目標検定・資格		13	5/10水
歯科医療事務管理士(7月21日)	受験対象	14	5/15月
	全員	15	5/16火
実施日	2023/7/21	16	5/17水
3. 学習上の留意点		17	5/22月
慣れない語句や記号などで戸惑うことも多いと思いますが、基本的に口の中のことで限られている内容なので、流れが理解できれば全体を把握できるようになります。練習問題を自主的に行うなど積極的に取り組んで下さい。		18	5/23火
		19	5/24水
		20	5/29月
		21	5/30火
		22	5/31水
		23	6/5月
		24	6/6火
		25	6/7水
		26	6/12月
4. テキスト		27	6/13火
歯科医療事務テキスト 基礎編・応用編		28	6/14水
歯科サポートブック ほか		29	6/20火
		30	6/21水
		31	6/26月
		32	6/27火
5. 成績評価の方法・基準		33	6/28水
出席率80%以上必須、検定試験60%未満は、追試		34	7/3月
A 総合評価 90点以上		35	7/4火
B 総合評価 70点以上、90点未満		36	7/5水
C 総合評価 60点以上、70点未満		37	7/10月
D 総合評価 60点未満		38	7/11火
※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。		39	7/12水
※追試については80%の点数をもって、C評価とする		40	7/18火
		41	7/19水
		42	7/24月
		43	7/25火
		44	7/26水
		45	7/31月

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース	学年・クラス	2D	
講義名	基礎医学Ⅲ		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	月4	405
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講義	1
実務経験のある教員による授業内容		医療従事者として検査・研究機関に勤務した経験を持つ教員が、基礎医学ほかについて教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>1年間実施してきた、解剖学(人体の仕組み)、生理学(身体の構造と働き)、病態生理学(病気のメカニズム)、免疫学、検査学、薬理学の総まとめになる。さらなる知識を深めて医薬品登録販売者合格を目指す。</p> <p>前半は、6月上旬に受験する薬学検定対策講座を行う。</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/10	授業概要 薬学検定について(出題内容) 薬学検定各論第2部対策(医療用語) 薬学堰堤各論第2部対策(医療用語)
		2	4/17	
		3	4/24	薬学検定各論第2部対策(医療用語) 演習問題
		4	5/1	薬学検定各論第2部対策(疾患・生活習慣病)
		5	5/8	薬学検定各論第2部対策(疾患・生活習慣病) 演習問題
		6	5/15	薬学検定試験問題取り組み
		7	5/22	薬学検定試験問題取り組み
		8	5/29	剤型ごとの違い ショック 皮膚粘膜障害 肝機能障害 偽アルドステロン症
		9	6/5	皮膚に現れる副作用 消化器系
		10	6/12	目 鼻 耳 皮膚
		11	6/26	長野県第2章問題 取り組みと解説
		12	7/3	長野県第2章問題 取り組みと解説
		13	7/10	長野県第2章問題 取り組みと解説
		14	7/24	期末試験
15	7/31	POP授業(302教室)		
2. 目標検定・資格				
第33回 薬学検定試験	受験対象			
	全員			
実施日	2023年6月5日(月)			
3. 学習上の留意点				
<p>一問一答を実施し、知識を身に付けます。 モチベーションを高く検定に臨んで下さい。 別途配布する資料は正しく整理して必ず保管しておくこと。</p>				
4. テキスト				
<p>薬学検定過去問題 登録販売者研修テキスト(薬事日報社D-モ) プリント</p>				
5. 成績評価の方法・基準				
<p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、 追試</p> <p>A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、検定可否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>				
		評価	試験	

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D	
講義名	アロマセラピー		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	火2	405
担当者	飯田 泰子		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容		アロマショップ経営としての経験を持つ教員が、アロマセラピーについて教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)				
<p>自分自身の健康には自分自身で責任を持ち、病気にならないための予防が重要視される現代において、体と心双方のケアに有用であるアロマセラピーの知識を身に付けることで自分のみならず、「人を思いやり、癒せる心」を育てること。また、アロマを通して、「自然環境」を大切に思う心を養う。</p>		No.	日付	授業内容		
		1	4/11	アロマセラピー概論 (西洋医学と自然療法・アロマの必要性) ★手浴		
		2	4/25	精油の抽出法(抽出部位・抽出方法・特徴類以説) ★バスソルト 100g		
		3	5/2	香りの歴史(アロマセラピーの歴史)		
		4	5/9	精油のブレンド法(キャリアの種類とブレンド計算性) ★トリートメントオイル 50ml		
		5	5/16	精油の体への影響(オイルトリートメント・オイルの種類) ★トリートメント実技		
		6	5/23	精油の脳への影響(脳の構造と臭覚のしくみ) ★みつろうクリーム 20cc		
		7	5/30	精油の心理作用(香りの精神作用とメンタルケア) ★エアーフレッシュナー 30ml		
		8	6/6	精油の成分(精油の安全性・禁忌・成分)		
		9	6/13	アロマの実践と法令(実務に関わる法令) ★ローション 50cc		
		10	6/20	ソープカービング (直線の彫り方 ダリアⅠ)		
		11	6/27	ソープカービング (直線の彫り方 ダリアⅡ)		
		12	7/4	ソープカービング (ひまわり)		
		13	7/11	睡眠の正体(睡眠障害とアロマによるケア) ★ボディーシャンプー 50cc		
		14	7/18	免疫力と病気の予防(循環器のケアと免疫系の働き) ★マウスウォッシュ 20ml		
15	7/25	理解力試験(ノート参照可)				
2. 目標検定・資格						
JAAアロマコーディネーター アロマ検定1・2級		受験対象 希望者				
実施日						
3. 学習上の留意点						
<p>実習をしてクラフトをつくります。が、理論の理解の上にたつての実習です。講義をよく聴き、正しい使用方法を理解するように勤めてください。</p> <p>想像している以上に内容は深いです。実習ばかりでなく講義にも積極的に参加しましょう。</p>						
4. テキスト						
平青学園出版アロマコーディネーター講座						
5. 成績評価の方法・基準						
<p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は追試</p> <p>A 総合評価 90点以上</p> <p>B 総合評価 70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価 60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価 60点未満</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、検定可否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p> <p>※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>						
		評価 試験				

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート	学年・クラス	2D	
講義名	地域医療福祉		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	火4	405
担当者	滝澤 幸子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容		医療事務協会においてレセプト作成および講師、また県障害者支援役員経験のある教員が、医療関連における社会問題の教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
医療と連携している介護にも焦点をあて、医療機関スタッフ・患者・住民としての立場から、今後地域がどうあるべきかも考えます。将来に向け自分たちは何をすべきか、何ができるかを考えていきます。	No.	日付	授業内容
	1	4/11	地域医療や社会問題について①
	2	4/25	地域医療や社会問題について②
	3	5/2	地域医療や社会問題について③
	4	5/9	ユニバーサル①
	5	5/16	ユニバーサル②
	6	5/23	フレイル予防①
	7	5/30	フレイル予防②
	8	6/6	フレイル予防③
	9	6/13	フレイル予防④
	10	6/20	化粧療法①
	11	6/27	化粧療法②
	12	7/4	化粧療法③
	13	7/11	化粧療法④
	14	7/18	医療と健康
	15	7/25	まとめ
	評価 試験		
3. 学習上の留意点	自分自身や家族の生活を振り返り、将来を見据えた提案や行動にもつなげていきますので、幅広い視点から建設的な態度で取り組んでください。		
4. テキスト	プリント		
5. 成績評価の方法・基準	出席率80%以上必須 期末試験60%未満は追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを考慮し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもってC評価とする		
受験対象			
実施日			



科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D	
講義名	サプリメント概論 (予防医学)		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	水1	405
担当者	滝澤 幸子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			無	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
<p>国が病気や介護になる前の「予防」の大切さを推奨するようになってから、世の中の意識もだいぶ高まってきました。医薬品とともにサプリメントがコンビニやスーパーなどの一般小売店でも販売されるようになり、大変便利になってきている反面、数ある中から自分に合ったものを選択する知識が必要になってきています。</p> <p>「栄養」「健康」「美容」など、幅広い分野からサプリメントの性質を理解し、病気予防とセルフケアに努める知識を習得します。</p>	No.	日付	授業内容	
	1	4/12	サプリメントの需要と必要性	
	2	4/19	<栄養素> ビタミン	
	3	4/26	<栄養素> ミネラル・糖質	
	4	5/10	<栄養素> 脂質・たんぱく質	
	2. 目標検定・資格	5	5/17	<保健機能食品> 特保・栄養機能食品
	薬学検定3級	受験対象 全員		
	実施日	2023年6月4日(日)		
	3. 学習上の留意点	6	5/24	<保健機能食品> 特保・栄養機能食品
	自分自身の健康や、就職後アドバイザーとなる際の知識になるうえ、登録販売者試験および化粧品検定にも通じる内容です。 サプリメントの知識は6月の薬学検定で実力を確認し、検定後は予防医学の知識を学びます。	7	5/31	検定対策
	4. テキスト	8	6/7	生活習慣病予防の食生活①
	薬学検定試験(A分野) 公式テキスト	9	6/14	生活習慣病予防の食生活②
	5. 成績評価の方法・基準	10	6/21	ライフステージ別の栄養
	出席率80%以上必須 期末試験60%未満は追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを考慮し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもってC評価とする	11	6/28	病気と栄養①
		12	7/5	病気と栄養②
	13	7/12	食育	
	14	7/19	食の安全と環境	
	15	7/26	まとめ	
	評価 試験			

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース	学年・クラス	2D	
講義名	医療事務総論	回数	講義期間	曜日・時限	教室	
		15	前期	水4	405	
担当者	滝澤 幸子	実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備 考
		有	必修	講・演	1	
実務経験のある教員による授業内容	医療事務協会においてレセプト作成および講師として勤務した経験がある教員が、医療関連のコミュニケーションにおいて教育を行う科目。					

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
医療はサービス業とみなされるようになり、医療機関でも様々な取り組みが行われるようになってきています。一般のサービス業と相違する点を認識し、実践につなげられるよう学びます。 患者様中心の医療が求められている現場を想定し、医療現場での様々な接遇を実践します。	No.	日付	授業内容
	1	4/12	コロナ禍における医療と社会(レポート発表)
	2	4/19	コロナ禍における医療と社会(レポート発表)
	3	4/26	医療接遇マナーの基本①
	4	5/10	医療接遇マナーの基本②
	5	5/17	医療スタッフに必要なコミュニケーション①
	6	5/24	医療スタッフに必要なコミュニケーション②
	7	5/31	医療スタッフに必要なコミュニケーション③
	8	6/7	電話対応①
	9	6/14	電話対応②
	10	6/21	電話対応③
	11	6/28	クレーム対応の基本①
	12	7/5	クレーム対応の基本②
	13	7/12	クレーム対応の基本③
	14	7/19	グループワーク
	15	7/26	振り返り・まとめ
3. 学習上の留意点	評価 試験		
社会人になる自分をイメージしながら、ロールプレイングやディスカッションなども取り入れていくので、積極的に参加しましょう。			
4. テキスト			
プリント			
5. 成績評価の方法・基準			
席率80%以上必須 期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度などを考慮し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもってC評価とする			
受験対象			
実施日			

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D	
講義名	ボディセラピー		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	木1・2	405 222
担当者	丸田 好美		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・実	1
実務経験のある教員による授業内容		リフレクソジストとして20年間従事した経験を持つ教員が、リフレクソロジーについて教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
リラクゼーション分野でのフットリフレクソロジーの施術方法を習得すると共に、概論や解剖生理学の講義では、一般的な人体知識を得る。	No.	日付	授業内容	
	1	4/13	オリエンテーション 概論講義 解剖生理学講義	
2. 目標検定・資格	2	4/20	フットリフレクソロジー実技練習	
	3	4/27	フットリフレクソロジー実技練習	
リフレクソジスト(平青学園)	4	5/11	フットリフレクソロジー実技練習	
	受験対象 全員	5	5/18	フットリフレクソロジー実技練習
実施日	2023/7/27	6	5/25	フットリフレクソロジー実技練習
3. 学習上の留意点	7	6/1	フットリフレクソロジー実技練習	
実習は相互実習の形態となり、生徒同士お互いに施術を行うことにより、人体への関心を高め、また、人に対する思いやりや優しさを持って授業に臨んでいただきたい。	8	6/8	フットリフレクソロジー実技練習	
	9	6/15	フットリフレクソロジー実技練習	
4. テキスト	10	6/22	フットリフレクソロジー実技練習	
ナチュレポディスクール発行 「ボディセラピー ベーシックレッスン」	11	6/29	フットリフレクソロジー実技練習	
	12	7/6	ボランティア活動	
5. 成績評価の方法・基準	13	7/13	フットリフレクソロジー実技練習	
出席率80%必須 期末試験(認定試験)60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上90点未満 C 総合評価 60点以上70点未満 D 総合評価 60点未満 * 期末試験の点数(60%)に、検定合格・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 * 追試については80%の点数をもって、C評価とする	14	7/20	フットリフレクソロジー実技練習	
	15	7/27	試験	
	評価 試験			

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース	学年・クラス	2D	
講義名	患者看護論 I		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	木4	405
担当者	畠山 仁美		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講義	1
実務経験のある教員による授業内容			看護師として病院勤務している経験を持つ教員が、看護学について教育を行う科目。			

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)	
医療チームの一員としての看護補助業務と役割を理解し、患者への基本的対応の仕方を身につける。		No.	日付
		授業内容	
2. 目標検定・資格		1	4/13
		1 医療・福祉専門職の実践的対応 ① 患者のニーズと医療専門職	
看護助手実務能力検定試験		2	4/20
		② 援助過程と障害の受容 ※ (橋本)リキ 校内ガイダンス	
実施日 2023/11/5(日)		3	4/27
		2 障害者の生活課題と福祉・リハビリ ① 社会福祉と権利擁護	
3. 学習上の留意点		4	5/11
		② 社会福祉と幸福追求権 ③ 障害と生活環境	
テキストを中心に学習する 振り返り小テスト実施		5	5/18
		3 患者の自己実現と社会福祉教育 ① 患者・家族支援とソーシャルワーク	
4. テキスト		6	5/25
		② ノーマライゼーションと社会福祉	
看護助手実務能力認定試験公式テキスト 患者・看護論		7	6/1
		4 職業倫理について	
5. 成績評価の方法・基準		8	6/8
		セミナー参加予定のため休講	
出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、 追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする		9	6/15
		5 看護サービス提供のしくみ ① 保健・医療・福祉サービスとは	
A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする		10	6/22
		② 医療サービス提供チーム	
A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする		11	6/29
		人体の解剖生理学 ①骨格・筋肉	
A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする		12	7/6
		人体の解剖生理学 ②臓器	
A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする		13	7/6
		3時限目 障害の理解	
A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする		14	7/13
		3時限目 疾病の理解	
A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする		15	7/13
		4時限目 期末試験	
		評価	
		試験	

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース	学年・クラス	2D	
講義名	患者看護論Ⅱ		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期・後期	木1・2	405
担当者	畠山 仁美		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	選択	講義	1
実務経験のある教員による授業内容			看護師として病院勤務している経験を持つ教員が、看護学について教育を行う科目。			

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)	
医療チームの一員としての看護補助業務と役割を理解し、患者への基本的対応の仕方を身につける。	No.	日付
	1	7/20 (木)
2. 目標検定・資格	3	7/20 (木)
	2	7/20 (木)
看護助手実務能力検定試験	4	7/27 (木)
	3	7/27 (木)
受験対象 全員	4	7/27 (木)
	5	9/7 (木)
実施日 2023/11/5(日)	6	9/7 (木)
	7	9/14 (木)
3. 学習上の留意点	8	9/14 (木)
テキストを中心に学習する 振り返り小テスト実施	9	9/21 (木)
	10	9/21 (木)
4. テキスト	11	9/28 (木)
看護助手実務能力認定試験公式テキスト 患者・看護論	12	10/5 (木)
	13	10/12 (木)
5. 成績評価の方法・基準	14	10/19 (木)
出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、 追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度 (40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする	15	10/26 (木)
	13	10/12 (木)
	14	10/19 (木)
	評価 試験	

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D	
講義名	POP II		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	木3	301
担当者	村松 康子		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容			広告代理店の業務を20年間担当した経験を持つ教員が、POPについて教育を行う科目。			

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
販売に不可欠であるPOPの手書きの基礎を学びます。他店との差別化をはかりお客様の足を止めさせ、いかに購買に向かわせるか……その為のレタリング・レイアウト・キャッチフレーズ等を学び練習を重ねます。最近巷で流行りのブラックボードにも挑戦します。	No.	日付	授業内容
	1	4/13	ポスター的POPの書き方のレクチャー 作品を仕上げる
	2	4/20	レタリングの復習練習 プライスカード作成
	3	4/27	装飾文字をマスターする
	4	5/11	装飾文字使用ショーカード プライスカード作成
	5	5/18	実際の店舗依頼のPOPの作成に挑戦 張出鑑賞
	6	5/25	実際の店舗依頼のPOP作成 プライスカード・ショーカード
	7	6/1	ブラックボード使用 作品作成 作品鑑賞(課題提供)
	8	6/8 3限目	ブラックボード使用 作品作成 作品鑑賞(課題自由)
	9	6/8 4限目	POP検定学科問題 答え合わせ レタリング練習
	10	6/15	POP検定学科問題 答え合わせ 装飾文字のマスター
	11	6/22	ショーカード・プライスカード作成
	12	6/29	A3サイズポスター的POP作成
	13	7/25 (火) 3限目	POP検定学科問題 答え合わせ 実技不得意なものの強化
	14	7/31 (月) 3限目	POP検定実技模擬試験
15	7/31 (月) 4限目	不得意なものの強化 試験に際しての持ち物等説明、質疑応答	
2. 目標検定・資格	POP広告クリエイター技能審査試験		
	受験対象 全員		
実施日	2023/8/4(金) 午後		
3. 学習上の留意点	レタリングや紙面上のレイアウトが重要になります。又、売ろうとする物や告知する事柄に関しての適切なコピーを考え短時間内にまとめ上げるスピードを身に着けることが大切です。		
4. テキスト	販売促進テキスト		
5. 成績評価の方法・基準	出席率80%以上必須、 出席・授業態度・提出物により評価します。		
評価 試験			

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリスト	学年・クラス	2D	
講義名	化粧品Ⅲ		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	前期 金1 後期 火3	302
担当者	滝澤 幸子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			無	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
<p>化粧品の良し悪しを評価するのではなく成分や働きを理解し、目的にあった使い方ができるようになることを目指します。</p> <p>間違えがちな化粧品や美容の知識のほか、皮膚の構造や肌悩みに対する化粧品の選び方などを習得していきます。</p> <p>医療機関やドラッグストアなど、就職後に活躍の幅を広げられるほか、自分自身の役立つ知識にもつながります。</p> <p>※前期は6/30まで、以降は後期の授業となります。</p>	No.	日付	授業内容
	1	4/14	1年次の復習
	2	4/21	化粧品原料と基礎知識 サプリメント①
	3	4/28	化粧品原料と基礎知識 サプリメント②
	4	5/12	化粧品原料と基礎知識 サプリメント③
	5	5/26	化粧品原料と基礎知識 サプリメント④
	6	6/2	化粧品原料と基礎知識 サプリメント⑤
	7	6/9	化粧品にまつわるルール①
	8	6/16	化粧品にまつわるルール②
	9	6/23	化粧品にまつわるルール③
	10	6/30	化粧品にまつわるルール④
	11	9/5	肌悩みに応じた対処
	12	9/12	肌の手入れと正しい知識①
	13	9/19	肌の手入れと正しい知識②
	14	9/26	肌の手入れと正しい知識③
15	10/3	肌の手入れと正しい知識④	
2. 目標検定・資格	受験対象 全員		
日本化粧品検定2級			
実施日	2023年11月下旬		
3. 学習上の留意点	<p>3級・自分の知識を正す(1年次に全員取得済)</p> <p>2級・肌に適した化粧品の選び方を習得</p> <p>1級・化粧品の専門家を目指す</p> <p>授業では2級の取得となりますが、希望があれば1級「コスメコンシェルジュ(あらゆる肌悩みに対し最適な化粧品を選び出せるプロ)」の受験にもつなげることができます。</p>		
4. テキスト	<p>日本化粧品検定2.3級対策テキスト</p> <p>日本化粧品検定2.3級対策問題集</p>		
5. 成績評価の方法・基準	<p>出席率80%以上必須</p> <p>期末試験60%未満は追試</p> <p>A 総合評価 90点以上</p> <p>B 総合評価 70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価 60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価 60点未満</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを考慮し、総合的に判断する。</p> <p>※追試については80%の点数をもってC評価とする</p>		

科名	医薬サポート	コース名	全コース	学年・クラス	2D	
講義名	基礎学力講座 SPI対策		回数	期間	曜日・時限	教室
			30	1年	金2	301
担当者	鈴木詩郎		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			無	必修	講・演	2
実務経験のある教員 による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
昔から「読み書きそろばん」と言われるように、言葉や計算の基礎は人が社会生活を営む上で必要不可欠な知識であり、「生きる力」の基盤となるものです。この講座では基礎学力や社会常識の定着を図り、自ら考える力の育成を目指します。また就職活動で力を最大限に発揮できるよう支援するのがこの講義の目的です。	授業日	コマ	計画
3. 学習上の留意点 ①得意な領域を伸ばし、苦手な分野を克服する姿勢で臨むこと。 ②テキストや冊子を繰り返し解いて、問題形式に慣れ、1冊の問題集を完全に自分のものにする。こと。 ③分からない問題は、中学、高校の教科書を見直したり、人に聞いたりして、基礎理解の確認を怠らないこと。	7月7日	1	講座オリエンテーション/計算基礎テスト
	7月14日	1	一般常識(時事・一般教養)
	7月21日	1	言語能力:同義語・対義語
	7月28日	1	言語能力:二語の関係
	9月8日	1	言語能力:熟語の構成
	9月15日	1	非言語能力:計算・数的問題(速さ・距離・時間①)
	9月22日	1	非言語能力:計算・数的問題(速さ・距離・時間②)
	9月29日	1	非言語能力:計算・数的問題(流水算)
	10月6日	1	中間整理テスト
	10月13日	1	社会常識:敬語基礎
	10月20日	1	社会常識:敬語応用
	10月27日	1	社会常識:敬語演習
	11月10日	1	非言語能力:計算・数的問題(割合と比)
	11月24日	1	非言語能力:計算・数的問題(塩水問題)
12月1日	1	非言語能力:計算・数的問題(表の計算)	
12月8日	1	非言語能力:計算・数的問題(仕事算)	
12月15日	1	非言語能力:計算・数的問題(分割算)	
1月12日	1	確認テスト	
4. テキスト	2023年		
『SPI&テストセンター1200題』 問題演習プリント集	4月14日	1	言語能力:語句の意味
5 成績評価の方法・基準 ①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。 A・90点以上、B・70点以上、C・60点以上、D・60点未満。	4月21日	1	言語能力:語句の用法①
	4月28日	1	言語能力:語句の用法②
	5月12日	1	非言語能力:論証問題(推論①)
	5月26日	1	非言語能力:論証問題(推論②)
	6月2日	1	非言語能力:論証問題(推論③)
	6月9日	1	非言語能力:論証問題(集合①)
	6月16日	1	非言語能力:論証問題(集合②)
	6月23日	1	非言語能力:計算・数的問題(代金精算)
	6月30日	1	総合試験



科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリスト	学年・クラス	
講義名	卒業研究		回数	講義期間	曜日・時限
			120	後期	月～金(時間割参照)
担当者	滝澤 幸子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態
				必修	講演
実務経験のある教員による授業内容					

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)
2年間を見つめ直し自己の学業生活の仕上げとなるようにテーマを考え、それをもとに「調査・研究」を行い論文の作成をします。 <40ページ以上> 習得した知識・技術を総合的に発揮させましょう。  ※すでに内定し職場実習をしている場合は、実習日誌とレポート(1200字以上)の提出を代替とします。	No. 日付 授業内容
2. 目標検定・資格	・オリエンテーション 9月5日(火)3時間目
	・テーマ、構成決定締切 9月19日(火)3時間目
	・クラス内中間発表 11月5日(火)3時間目
	・論文仕上げ 締切日 12月4日(月)4時間目
	・パワーポイント完成 12月11日(月)4時間目
実施日	・医薬サポート科 卒業研究発表会 令和6年1月16日(火)301教室
3. 学習上の留意点	
これまでの「覚える学習」から「自分で考えて作り出す学習」となるため、自分の課題をしっかりと計画実行をしましょう。  ※途中で内定、実習になった場合はその時点で進行状況を鑑み対処します。	
4. テキスト	
5. 成績評価の方法・基準	
出席率80%以上必須 期末試験60%未満は追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを考慮し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもってC評価とする	

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 健康アドバイザー	学年・クラス	2D
講義名	手話	回数	講義期間	曜日・時限	教室
		15	後期	月2	405
担当者	千野 裕子	実務経験	必修・選択	単位数	備考
		有	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容	県登録手話通訳者として従事した経験のある教員が、手話について教育を行う科目。				

No.	日付	授業内容
1	9/4	・手話で挨拶 ・自己紹介
2	9/11	<基礎知識> 聴覚障がい者へのユニバーサルサービス ①
3	9/25	<基礎知識> 聴覚障がい者へのユニバーサルサービス ②
4	10/2	<手話へのアプローチ> 伝えあってみよう ・指文字 ・数字
5	10/16	<手話の基本> ① ・名前 ・家族
6	10/23	<手話の基本> ② ・趣味 ・仕事
7	10/30	上野先生 聴覚障がい者と医療
8	11/6	<手話の基本> ③ ・住所
9	11/13	<場面別 手話の会話> 1 基本の会話
10	11/20	<場面別 手話の会話> 2 病院・診療所での会話 ①
11	11/27	上野先生 聴覚障がい者にやさしい接客
12	12/4	<場面別 手話の会話> 3 病院・診療所での会話 ②
13	12/11	<場面別 手話の会話> 4 薬局での会話
14	12/18	復習 ①医療手話 ②接客手話
15	1/10 (水)	期末試験 実技:手話3分間スピーチ レポート:テーマは後日
評価 試験		

聴覚障がい及び聴覚障がい者について知り、合わせて、コミュニケーション方法の多様性を学びます。その上で、特に『手話』を日常言語としている聴覚障がい者への対応として、手話の基礎表現と、医療・接客などの生活場面に応じた簡単な手話スキルを身につけ、コミュニケーション能力アップを図ります。

2. 目標検定・資格

無 受験対象

実施日

3. 学習上の留意点

手話は視覚言語(=視ることば)です。相手が視てわかりやすい動作や表情を工夫して積極的に、楽しく表わしてみましょう。また、「今耳に入っている情報がもし聞こえなかったら・・・?」、と、ふだんから聴覚障がいに対しての関心を持つように心がけましょう。

4. テキスト

プリント  
「手話で必見!医療のすべて<外来編>」

5. 成績評価の方法・基準

出席率80%以上 単元毎に小課題提出  
A 総合評価 90点以上  
B 総合評価 70点以上、90点未満  
C 総合評価 60点以上、70点未満  
D 総合評価 60点未満→単位不認定  
※単元毎の課題+期末試験の評価に授業態度などを加味し、総合的に判断します。  
※追試については80%の点数をもって、C評価とします。

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D
講義名	パワーポイント	回数	講義期間	曜日・時限	教室
		15	後期	月3	201
担当者	坂口 和江	実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
		有	選択	演習	1
実務経験のある教員による授業内容		事務職経験が3年以上ある教員が、パソコン基礎ほかについて教育を行う科目。			

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)					
<p>プレゼンテーションソフトであるパワーポイント(Power Point)の技能を習得します。 卒業研究の発表ではパワーポイントを使用します。授業の中では、作成技能、資料作成の工夫の仕方、発表態度も含め習得します。プレゼンテーションは自己満足では伝えたい内容が伝わりません。伝えたいことを正しく、分かりやすく簡単に聞き手に届くような作り方を提案していきます。</p>		No.	日付	授業内容			
		1	9/4	パワーポイント プレゼン資料の作成 基本①社内プレゼン			
		2	9/11	パワーポイント プレゼン資料の作成 基本②社内プレゼン			
		3	9/25	パワーポイント プレゼン資料の作成 基本③社外プレゼン			
		4	10/2	パワーポイント プレゼン資料の作成 基本④社外プレゼン			
		5	10/16	パワーポイント プレゼン資料の作成 基本⑤			
		2. 目標検定・資格		6	10/23	練習問題作成	
		受験対象		(Word) ページ設定、目次設定等			
				7	10/30		
		3. 学習上の留意点		8	11/6	スライドの重要性について 卒業研究スライドの作成①	
		欠席した部分を改めて補う時間は取れません。健康に留意し、遅刻・欠席の無いように心がけてください。 また、USBは必ず持参してください。		9	11/13	パワーポイント 卒業研究スライドの作成②	
				10	11/20	パワーポイント 卒業研究スライドの作成③	
				11	11/27	パワーポイント 卒業研究スライドの作成④	
		4. テキスト		12	12/4	パワーポイント 卒業研究スライドの作成⑤	
		テキストは都度プリントを準備します。 綴じるためのファイルがあると便利です。		13	12/11	パワーポイント 卒業研究スライドの作成⑥	
14	12/18			卒業研究仮発表			
15	1/10 (水)			卒業研究発表前リハーサル			
5. 成績評価の方法・基準		評価 試験					
出席率80%以上必須、期末試験60%未満は追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※発表の出来栄え点(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断します。							

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	2D	
講義名	ライフプランニング		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	火1	405
担当者	相馬豊恒(9/6~10/4)	吉	実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
	家昭雄(10/11~11/15)		有	選択	講義	2
	清水利朗(11/29~1/17)					
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)			
<p>「働く」がいよいよ間近に迫ってきました。これまでの学生生活とは全く異なる生活が始まります。そんな生活のために「知っておかなければならないこと」、「やっておかなければならないこと」を3つのテーマごとに3人の先生から学びます。それらの学びはすべて人生の教科書になるものばかりです。</p>		No.	日付	授業内容	
		1	9/6	★経済の仕組み 第1回 経済とは何か なぜお金を使うようになったか	
		2	9/13	第2回 需要と供給	GDP
		3	9/20	第3回 経済のグローバル化	為替
		4	9/27	第4回 政府の役割	税金・年金
		5	10/4	第5回 企業の役割と経営	
		6	10/11	★働くに必要な法律、保険とお金の知識 第1回 知っておきたい働くルール	
		7	10/18	第2回 税金のはなし	
		8	10/25	第3回 知っておきたい年金のはなし	
		9	11/1	第4回 知っておきたい健康保険、労働保険	
		10	11/15	第5回 学生のための人生とお金の知恵	
		11	11/29	★働く直前講座「こうやって働くんだ！」 第1回 正社員であることと転職を考える	
		12	12/6	第2回 働く環境の変化とこれから	
		13	12/13	第3回 働くは楽しい	
		14	1/10	第4回 働くを楽しくさせる3つのポイント	
15	1/17	第5回 自分にとっての働く目標を定める			
2. 目標検定・資格					
無		受験対象			
実施日					
3. 学習上の留意点					
4. テキスト					
①はたらく若者ハンドブック、知っておきたい働くときの基礎知識(発行:長野県労働雇用課) ②知っておきたい年金のはなし(プリント) ③知っておきたい働くときの基礎知識(発行:全国社会保険労務士会) ④大学生のための人生とお金の知識(発行:金融広報中央委員会) 他					
5. 成績評価の方法・基準					
授業出席率トータル80%以上 欠席・遅刻は社会人としての大きな学びを学べない大きなマイナスであると自覚してください。授業態度・小テスト・課題などを加味して期末に総合的に評価します。					
		評価 試験			

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D	
講義名	応用ペン字		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	火2	304
担当者	岡澤 由香		実務経験	必修・選択	単位数	備考
			無	必修	講・演	1
実務経験のある教員による授業内容						

<p>前期の基礎的な硬筆の学習をふまえ、社会に出て即時に役立つ事例での、より応用的な書法・マナーを学びます。実践練習を重ね、慌てずに自信を持って対応できる、即応力を身に付けます。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>文部科学省後援 筆書写技能検定 場: 市立長野高校(徳間1133) 実施日: 11月12日(日)、令和6年1月末</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>授業中だけでなく、日常生活の中でも意欲的&amp;積極的に学習意識ある文字を書く姿勢を求めます。 10/19-11/9の3回は、指導者1年生就職支援授業の為、自習(課題提出)となる予定です。提出課題の内容如何に依っては再提出にもなりませんので、静粛に取り組んで下さい。</p> <p>4. テキスト</p> <p>書き込み式ボールペン字実用練習帳 成美堂出版 和田康子</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上 単元毎に小課題提出 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※毎時間の課題の評価に、意欲・理解力・授業態度(睡眠・おしゃべり・携帯)等を加味し、きちんと学習している学生が正しく評価されるよう、総合的に判断します。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とします。</p>	No.	日付	授業内容	
	1	9/5	前期課題の返却と指導 アルファベット イムカプセル中間開封	タ
	2	9/12	筆順の原則・大型封筒・難熟語①	
	3	9/19	FAX送信状・資料送付状	
	4	9/26	ビジネス伝言メモ・宅急便送付状 名詞・カード・DMの添え書き	
	5	10/3	招待状の返事とマナー	
	6	10/10	連綿の基礎・難熟語②	
	⑦	10/17	お礼・お願い・お詫び・お知らせの文章	
	⑧	10/24	手紙文とマナー①ハガキ	
	⑨	10/31	手紙文とマナー②封書 季語・頭語・結語	
	10	11/14	ビジネス年賀状・掲示文	
	11	11/21	硬筆総復習課題・硬筆書写検定課題 筆ペン①基本の筆運び	
	12	11/28	筆ペン②様々な課題を筆ペンで	
	13	12/5	筆ペン③熨斗紙・祝儀・不祝儀袋・芳名帳	
	14	12/12	後期試験—後期の総合課題	
15	12/19	期末課題の返却と指導 ン字のタイムカプセル開封・評価	ペ	
評価 試験				

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D	
講義名	栄養学		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	水1・2	405
担当者	石澤美代子(1時間目) 島田渉(2時間目)		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	3
実務経験のある教員による授業内容		管理栄養士として勤務をした経験のある教員が、栄養学について教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
健康づくりの基本となる理想的な食生活を送るために必要な栄養素とその働きを学び、さらに生活習慣病等の予防や改善のための知識について学ぶ。 調理実習では食材の特性や安全性、栄養価を理解し、料理の組み合わせである献立の展開を知りバランスよく食べることを知識と体験で会得する。また自立して食事づくりができるよう調理技術を習得する。 授業を通して、栄養学に基づいた食生活の管理技術を学ぶ。		No.	日付	授業内容
		2. 目標検定・資格		1
2				
実施日		3	9/13	食生活診断、健康・栄養の現状
		4		食品表示
3. 学習上の留意点		5	9/20	栄養学のための基礎データ
		6		食事バランスガイド (調理実習の説明)
健康に興味を持ち、健康の保持・増進のために自分の食生活を振り返り、健康目標を立てて実践していく。 調理実習では準備から片付けまで実施し、食事づくりの流れを理解する。 【持ち物】 ・毎回…電卓(携帯スマホは不可) ・調理実習…エプロン、バンダナ、ハンカチ		7	9/27	調理実習①(中部勤労青少年ホーム)
		8		
4. テキスト		9	10/4	栄養学の基本とライフステージ別栄養学
		10		
「栄養学の基本がまるごとわかる辞典」西東社		11	10/11	栄養素の基礎知識① (調理実習の説明)
		12		
5. 成績評価の方法・基準		13	10/18	調理実習②(中部勤労青少年ホーム)
		14		
出席率80%以上 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※毎時間の課題の評価に、意欲・理解力・授業態度(睡眠・おしゃべり・携帯)等を加味し、きちんと学習している学生が正しく評価されるよう、総合的に判断します。 ※追試については70%の点数をもって、C評価とします。		15	10/25	栄養学の基礎知識②
		16		
※追試については70%の点数をもって、C評価とします。		17	11/1	栄養学の基礎知識③ (調理実習の説明)
		18		
※追試については70%の点数をもって、C評価とします。		19	11/8	調理実習③(中部勤労青少年ホーム)
		20		
※追試については70%の点数をもって、C評価とします。		21	11/15	食材の栄養成分と働き①
		22		
※追試については70%の点数をもって、C評価とします。		23	11/22	食材の栄養成分と働き②郷土食 (調理実習の説明)
		24		
※追試については70%の点数をもって、C評価とします。		25	11/29	調理実習④(中部勤労青少年ホーム)
		26		
※追試については70%の点数をもって、C評価とします。		27	12/6	病気と栄養①
		28		
※追試については70%の点数をもって、C評価とします。		29	12/13	病気と栄養②
		30		期末試験
評価試験				

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D	
講義名	化粧品Ⅳ		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	水3・4	302
担当者	滝澤 幸子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			無	必修	講演	1
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
化粧品の成分や製品の種類・働き、および医薬品医療機器等法などの法律分野まで、幅広く勉強します。	No.	日付	授業内容
皮膚の構造や肌悩みに対する化粧品の選び方やメイク方法、美肌に導く美容知識など、1年次からの総まとめをして、11月に日本化粧品検定2級の受験をします。	1	9/6	肌を劣化させる様々な要因 ・外的、内的要因 ・紫外線
	2		
	3	9/13	効果的なマッサージ 美しい肌をつくる生活習慣
	4		
2. 目標検定・資格	5	9/20	化粧品にまつわるルール ・医薬品医療機器等法
日本化粧品検定2級	6		
受験対象 全員			
実施日	2023年11月下旬		
3. 学習上の留意点	7	9/27	化粧品にまつわるルール ・広告やPRのルール
2級・・・肌に適した化粧品の選び方を習得 1級・・・化粧品の専門家を目指す	8		
2年次後期に2級の取得を目指します。さらに希望があれば1級「コスメコンシェルジュ(あらゆる肌悩みに対し最適な化粧品を選び出せるプロ)」の受験にもつなげることができるので、幅広い知識を身につけましょう。	9	10/4	化粧品原料と基礎知識 基礎化粧品・メイクアップ化粧品の構成成分
4. テキスト	10		
日本化粧品検定2・3級テキスト 日本化粧品検定2・3級問題集	11	10/11	化粧品原料と基礎知識 ヘアケア商品・サプリメントの基礎知識
5. 成績評価の方法・基準	12		
出席率80%以上必須 期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 検定試験の点数(60%)に、授業態度(40%)合否・授業態度などを加味し、総合的に判断する。	13	10/18	検定対策、まとめ
	14		
	15	10/25	模擬試験
	評価 試験		検定試験代替

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D	
講義名	ケアコミュニケーション		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	後期	水3・4	405
担当者	滝澤 幸子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講演	1
実務経験のある教員による授業内容		県委託障害者通訳・コーディネーターとして従事し、県役員として勤めたことのある教員が、要約筆記を含む幅広いコミュニケーションができるための教育を行う科目。				

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)	
ケアが必要な方を対象に、ひとりひとりのニーズに合わせたコミュニケーションの必要性を学びます。	No.	日付
就職現場など、公私ともに難聴や聞こえの悪い人と関わる機会が増えていくことを想定し、要約筆記の基礎を学び、筆談で通訳できるスキルを習得します。それと併せ、物事の要点をまとめる力をつけることで、ビジネスのスキルUPにもつなげます。	1	10/25
	要約と筆談の違いとポイント 難聴者とのコミュニケーション方法	
2. 目標検定・資格	2	11/1
	筆記の3原則	
受験対象	3	11/8
	読みやすい表記	
実施日	4	11/15
	話し言葉の要約	
3. 学習上の留意点	5	11/22
	表記のポイント	
要約力を身につけることは、コミュニケーションの幅が広がるほか、社会人スキルの向上にもつながるので、積極的に実習に取り組むようにしましょう。ロールプレイングやディスカッションなども取り入れていきます。	6	11/29
	筆記通訳体験	
4. テキスト	7	12/6
	筆記通訳体験	
プリント	8	12/13
	まとめ、実習	
5. 成績評価の方法・基準	9	12/13
	まとめ、実習	
出席率80%以上必須	10	12/13
	まとめ、実習	
・現場を想定したコミュニケーションおよび筆談ができるレベルに到達させる。 ・授業態度、実習内容等により総合的に評価する。	11	12/13
	まとめ、実習	
	12	
	13	
	14	
	15	
	評価	
	試験	



科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース	学年・クラス	2D		
講義名	患者看護論Ⅱ		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期・後期	木1・2	304	
担当者	畠山 仁美		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	選択	講	1	
実務経験のある教員による授業内容		看護師として病院勤務している経験を持つ教員が、看護学について教育を行う科目。					

医療チームの一員としての看護補助業務と役割を理解し、患者への基本的対応の仕方を身につける。	No.	日付	授業内容	
	1	7/20 (木)	第3章リスクマネジメント 3時限目	
	2	7/20 (木)	第4章薬物の知識 4時限目	
	3	7/27 (木)	障害の理解 3時限目	
	4	7/27 (木)	老化の理解 4時限目	
	2. 目標検定・資格	9/7 (木)	第5章ターミナルケア 1時限目	
	看護助手実務能力検定試験	受験対象	9/7 (木)	【基本技術】 第1章ボディメカ 2時限目
	実施日	2023/11/5(日)	9/14 (木)	第2章生活環境に関わる業務 1時限目
	3. 学習上の留意点	テキストを中心に学習する 振り返り小テスト実施	9/14 (木)	コミュニケーション技術 2時限目
	4. テキスト	看護助手実務能力認定試験公式テキスト 患者・看護論	9/21 (木)	第3章日常生活に関わる業務 1 安全安楽に関する介助 2 移動・移乗に関する介助 1時限目
	5. 成績評価の方法・基準	出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、 追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度 (40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする	9/21 (木)	3 食事に関する介助 4 口腔ケア 2時限目
			9/28 (木)	5 着替えの介助 2時限目
			10/5 (木)	6 身体の清潔に関する介助 2時限目
			10/12 (木)	7 排泄に関する介助 2時限目
			10/19 (木)	振り返り 2時限目
		10/26 (木)	期末試験 2時限目	
			評価 試験	

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポート 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D	
講義名	健康管理学		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	通年	火3・木1・2	405
担当者	滝澤 幸子		実務経験の有無	必修・選択	授業形態	単位数
			無	必修	講演	1
実務経験のある教員による授業内容						

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)			
<p>過度なストレス、食生活の乱れ、運動不足等が原因となる生活習慣病の多様化や、高齢化の進行が医療費の増加を招き、大きな社会問題になっています。そのため、地域や企業、家庭において健康管理の知識と意識を言及し、健康を守る大切さが見直されています。</p> <p>人生100年時代も想定し、「予防医学のスペシャリスト」として、健康管理に関する正しい知識を習得します。</p>	No.	日付	授業内容	
	2. 目標検定・資格	1	9/28	健康管理学①
	受験対象	2	10/5	健康管理学②
		3	10/12	生活習慣病の基礎知識①
	実施日	4	10/19	生活習慣病の基礎知識②
		5	10/26	生活習慣病の基礎知識③
	3. 学習上の留意点	6	11/2	生活習慣病の基礎知識④
		7	11/9	心の健康管理①
		8	11/16	心の健康管理②
	4. テキスト	9	11/16	心の健康管理③
		10	11/30	生活環境と健康①
		11	11/30	生活環境と健康②
	5. 成績評価の方法・基準	12	11/30	生活環境と健康③
		13	12/7	身体を守る健康知識①
		14	12/7	身体を守る健康知識②
<p>出席率80%以上必須</p> <p>・授業態度、実習内容・レポート等により総合的に評価する。</p>	15	12/14	まとめ	
	評価 試験			

科名	医薬サポート科	コース名	メディカルサポートコース 医薬品スペシャリストコース	学年・クラス	2D				
講義名	登録販売者総論Ⅱ		回数	講義期間	曜日・時限	教室			
			30	後期	金2・3	405			
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数			
			有	必修	講演	4			
実務経験のある教員による授業内容	医療従事者として検査・研究機関に勤務した経験を持つ教員が、登録販売者総論ほかについて教育を行う科目。								
1. 講義の概要と目的			6. 講義計画(シラバス)						
<p>・2年間の医薬品や登録販売者の学習のまとめとして、お客様や身近な人にも医薬品の説明や健康アドバイスができるよう必要とされる知識を深めていき生涯の知識とする。</p>			No.	日付	授業内容				
			1	9/8	第1回模擬試験(解説)	問1～問60			
			2	9/15	" (解説)	問61～問120			
			3	9/22	第2回模擬試験(解説)	問1～問60			
			4	9/29	" (解説)	問61～問120			
			2. 目標検定・資格			5	10/6	第3回模擬試験(解説)	問1～問60
			登録販売者試験		受験対象	6	10/20	" (解説)	問61～問120
			実施日			7	10/27	第4回模擬試験(解説)	問1～問60
			3. 学習上の留意点			8	11/10	" (解説)	問61～問120
			<p>医薬品に関する情報提供、相談対応における実践的なイメージを常に持ち続けて下さい。 反復学習は必ず実施して下さい。 総得点84点以上で合格ですが、各項目毎に一定割合以下(35%)の場合は不合格になってしまいます。苦手科目をつくらずに学習していきましょう。</p>			9	11/17	第5回模擬試験(解説)	問1～問60
						10	11/24	" (解説)	問61～問120
						4. テキスト			11
			登録販売者研修テキスト 登録販売者問題集			12	12/8	" (解説)	問61～問120
			5. 成績評価の方法・基準			13	12/15	第7回模擬試験 (解説)	問1～問60
			<p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 出席率不足は課題提出 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度・単元小テスト(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする。</p>			14	1/9 (火)	" (解説)	問61～問120
15	1/12	まとめ							
評価 試験									